

特集  
ウサギ小屋  
からの脱出

# わいふ



わいふインタビュー・河合秀和  
●腐敗の構造は変革できるか  
耕して天に到る・多摩丘陵の変貌  
日本人は小さな家が好き  
こどもの事故 さまざま

書きたいひと

考えたいひと 知りたいひと

怒りたいひと

「わいふ」はあなたの雑誌です

あなたの中にあるものを

声にしてみませんか？

あなたは発見するでしょう

同じことを考えているひとが

あそこにも ここにも

いたことを

そして みんなで考えるとき

あなたは もう

一人ぼっちではない

ということ

自分に合った才能発見の秘訣！

女性だから  
できる勉強法

● 知的生活のヒント

立教大学  
教授

室 俊司

ヘカツパ・ホームズ◇新刊  
書下ろし ¥580



資格をとりたい、原稿を書きたい、通信教育を受けたい、自分の一生のテーマを見つけたい——その気持ちが大切なんです。あなたもいますぐ実行できる座右のガイドブック。

● 本元教子(本元教子)評  
「何を、どういうふうにはじめたらいいかわからない」こうおっしゃるあなた。人生を自分自身で充実させたいと思えば、一緒にこの本を読んでみませんか。

光文社  
東京・文京区・音羽2

特集 ウサギ小屋からの脱出

特集投稿……………松田治子・亀山和枝・柳本繪子・久恒洋子・空 修子……………17

☆住宅難への抗議・スクオッティング……………23

特集リポート●耕して天に到る——多摩丘陵の変貌……………24

●ウサギ小屋の伝統——日本人は小さな家が好き……………30

グラビア・17年目を迎えたわいふ……………2

〈わいふインタビュー〉河合秀和／腐敗の構造は変革できるか……………5

対話のページ・エコー／井上桂子・大川原みち子・荒木李恵子……………12

随筆・台風を楽しむ……………高安恵美子……………34

・僕が犬語を話せるわけ……………国吉 健……………36

★女の熱気がテレビを変える……………富永孝子……………38

近代文学館へ行ってみよう……………43

☆こどもの事故さまざま——わいふの調査から——……………44

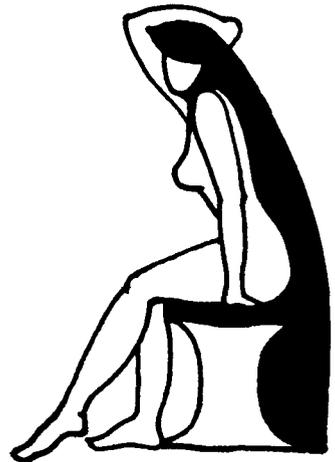
こわい野菜？……………52

☆離婚のしかた教えます……………和田好子……………56

おしゃべり……………62

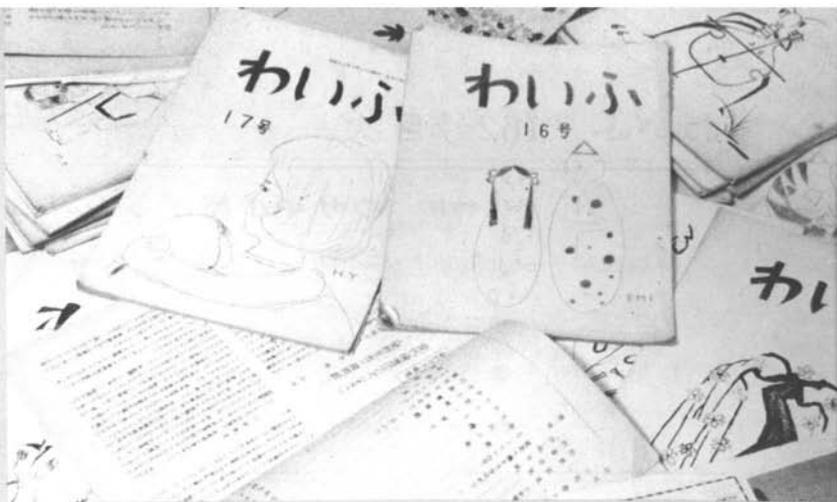
●投稿規定・次号投稿募集……………67

編集だより……………68



表紙・小山田チカエ  
イラスト・西田 淑子  
カット・松本をきえ

宝塚時代の「わいふ」



# 17年目を迎えた わいふ

東京での出版第一号



和田好子



139号～144号頃  
の「わいふ」



金子昌子



北村七重



原田静枝



早川裕子

「わいふ」が兵庫県宝塚市で生まれてから、十六年経ちました。現在もつとも歴史の古い、主婦の投稿誌になっています。

右の写真は宝塚時代のもの。カリ版すりから写植へ。月刊誌として二二七号も続いたのです。

一九七五年末、投稿者の数が増えたために廃刊宣言が出されたとき、伝統ある「わいふ」をつぶすには忍びないと、東京の会員が集って新しく発足したのが現在の「わいふ」です。

隔月刊で企画ものを含む新しいスタイルになりましたが、家庭に閉じこめられた主婦たちの交流と連帯の場という、初期の「わいふ」の性格は少しも変わってはいません。

再発足当時から編集のスタッフ、和田、林、田中。昨年から参加しているフレッシュメンバー、早川、原田。一番しんどい事務処理のパワー、北村、金子。

イラストの西田淑子、カットの松本をきえは前途有望の画家の卵です。

その他千葉県の久恒洋子、四方愛子、鈴木由美子、世田谷区の鈴木みち子さんなどをはじめ、たくさんの方たちの力が「わいふ」を支えています。

一九八〇年代を迎えて、「わいふ」はいっそのついでに飛躍を夢んでいます。今年もどうぞよろしく！



田中喜美子

林慶子



# 初めて、成分100%を公開した、信頼のブランド

heim 昭和36年「100円化粧品」を開発、品質の良さは、各種目かくしテストでも実証されております。

よりナチュラルに、より安全に……と願う女性の声が生みあげた「やさしさ」の化粧品、それが**ハイム**です。

実用的な価格設定で、ヤングミセス、シニアミセスを中心に、その世代の生活意識に密着した、商品造りを目ざしています。

**基礎化粧料から化粧小物まで、57品種、152品目  
価格構成としては、150円から400円まで**

下記40ハイムセンター(代理店)を設置しておりますので、ご利用ください。

## ハイムセンター名簿

54. 12. 1 現在

名 称	〒	住 所	電 話
㈱北海道ハイム	062	札幌市豊平区豊平四条5-18	011(831)3236
㈱青森ハイムセンター	030-01	青森市大矢沢字里見942	0177(82)5403
㈱岩手県ハイム	020	盛岡市清水町1-37	0196(24)2817
宮城ハイムセンター	980	仙台市綿町2-1-40 宮城県農協会館分室内	0222(62)0268
福島ハイム㈱	960	福島市上町1-13 学生協ビル	0245(22)6319
茨城ハイムセンター	310	水戸市梅香町2-1-39 労働福祉会館内	0292(21)0158
栃木ハイムセンター	320	宇都宮市桜4-16-5 安田様方	0286(22)7688
㈱群馬ハイムセンター	371	前橋市大手町3-11-1 社会文化会館内	0272(32)3869
㈱関東ハイム	336	浦和市太田窪1941-85	0488(86)7899
東京ハイムセンター	150	渋谷区代官山5-4 清水様方	03(464)9150
千葉ハイムセンター	271	松戸市馬橋1898	0473(42)2219
横須賀ハイムセンター	237	横須賀市船越町7-39 大貫様方	0468(61)8012
㈱長野ハイム販売	380	長野市柳町45	0262(32)7977
㈱甲信ハイム	390	松本市清水2-4-5	0263(34)2023
新潟ハイムセンター	951	新潟市東中通1番町 社会党会館内	0252(28)9570
㈱柏倉商店	930	富山市室町通1-4	0764(21)3163
ハイム石川センター(㈱)	921	金沢市泉1-5-8	0762(41)6783
㈱福井ハイム	910	福井市大手2-14-4	0776(24)4154
静岡ハイムセンター	420	静岡市瓦場町1-13	0542(47)8156
川端商店	432	浜松市鴨江1-6-6 川端昌一様方	0534(52)6523
㈱愛幸商会	453	名古屋市中村区大正町4-41	052(452)6278
滋賀ハイムセンター	529-16	滋賀県蒲生郡日野町大窪1217 木田様方	07485(2)0152
㈱京都ハイム	601	京都市南区東九条北烏丸町8	075(681)3057
㈱エイコー	552	大阪市港区築港2-1-3-905	06(574)0816
㈱和歌山ハイム	649-62	和歌山県那賀郡岩出町高瀬17-9	07366(2)5348
㈱神港商事	651	神戸市葺合区北本町3-1-3	078(251)8160
㈱島根ハイム	690	松江市北殿町223	0852(23)0235
㈱岡山ハイム商事	710	倉敷市西中新田548	0864(24)5434
㈱共益社	733	広島市住吉町17-22	0822(43)2655
㈱山口ハイム商事	753	山口市駅通2-6-15	08392(2)5219
徳島ハイムセンター	770	徳島市吉野町2-1 小島様方	0886(54)3678
香川ハイムセンター	760	高松市宮脇町2-20-22 林様方	0878(31)2066
㈱愛媛ハイムセンター	790	松山市松前町1-2-5	0899(41)6070
㈱高知ハイム	780	高知市丸の内1-7-26	0888(24)0278
九州ハイム商事(㈱)	812	福岡市博多区住吉4-16-4	092(472)3191~3
長崎ハイムセンター	859-06	長崎県西彼杵郡長与町高田郷2336 江口様方	0958(56)2346
長崎県北地区ハイムセンター	857-11	佐世保市黒髪町6915 E20 齋藤純様方	0956(31)1515
ハイム化粧品販売(㈱)	862	熊本市下南郡松ノ窪313-3	0963(81)0897
㈱宮崎ハイム	880	宮崎市橋通西1-3-6 佐々木ビル内	0985(24)5470
㈱鹿児島ハイムセンター	890	鹿児島常盤町530-9	0992(82)3041

東京都台東区上野7-12-10

**ハイム化粧品** 電話 03(843)7521(代表)

# 河合 秀和

## 腐敗の構造は 変革でできるか



わいふ・インタビュー

鉄建公団のカラ出張を皮切りに、KDの密輸事件、宇野代議士の買収と、一九七九年後半は、議員、官僚の腐敗がさらけ出された。しかも国民の怒りをよそに、渦中の人が悠々最高位で当選を続ける現実には、やりきれない思いをかき立てられる。

イギリスでも百年前は、選挙に伴なう買収がひどかったといわれる。腐敗を一掃したこの国の現在の清潔さは、どのようなして達成されたのか、河合秀和さんにきいてみた。

——イギリスでも選挙に伴なう買収がひどかった、ということは本当なんでしょうか。

河合 そうです。十八世紀から十九世紀にかけて、選挙というのは国民にとって一番のしい、一番民主的な出来事だったんです。有権者も非有権者も集まってね、おえらがたには牛のマル焼きと葡萄酒が、一緒にいついてきた非有権者には羊肉とビールが出て、飲んでさわいで……候補者が出てくると泥をぶつけて……。つまり当選すれば候補者はいばるんだ、その前の何日間かは候補者にたかれるだけたかろう、飲めるだけ飲もう、有権者の天国だ、というわけです。あげくの果てに大ゲンカはある、死人

は出る、負傷者で病院はいっぱいになるという有様で、これが百年ぐらい前まで約三百年間続いたんです。

——日本以上ですね。いったいそんな有様が、どうして改革されたんでしょうか。

河合 ひとつはね、ゆすりたかりが余りひどすぎて、候補者のほうがやりきれなくなつたのが始まりです。

——なるほど。

河合 もう一つはね、政党の組織に関係があるんです。イギリスには昔から政党がありませんが、今のような形ではなく、個人としての立候補者が当選してから議会へ行って、議員のクラブとしての政党を構成する、といった形でしたから、現在の自民党

に似ています。

自民党の立候補者も、党の組織ではない後援会を地元を持っていて、当選してから党に属する、という形が多いですからね。

こういう議員たちが集まって、余り有権者にたかられるから自粛しようじゃないか、ということ、それから、一旦約束したことは守って、議員としての名譽を護ろうじゃないか、ということ、議会の中にも資格審査委員会を設けて、約束を守らなかった議員は排除しよう、というとりきめをした。

日本の場合、買収事件は裁判所に委ねられる。議員のほうでも、要するに法律に引っかかりさえしなければいい、という考えなんです。しかしイギリスではもうひとつその上に、名譽の問題があるわけです。法律ではなく、いわば名譽ある人間として、自分が約束を守るということを立証しなければならぬ。議員としての品位を守るために、議員同士の規律がきびしくなったという事なんです。

第三に、一八六七年、第二次選挙法改革で有権者の数が十倍にふえた。民主主義が進んで、都市の労働者が投票権を持つこと

▼河合秀和 学習院大学法学部教授、比較政

治学。一九五六年東大法学部政治学科卒業、イギリス留学二回。著書に『現代イギリス政治史研究』（岩波書店）『チャーチル』『レーニン』（中公新書）等。

になり、有権者が三百万人位にふえた。とてもそれまでのようには買収しきれないわけです。

その五年後、選挙での投票が秘密投票になった。それまでは選挙の投票場の前の広場で飲んだり食ったりして、それから選挙管理委員の前に出て行って誰それに投票するという。第一投票日も決まっていなかった。買収される方はまだ飲ませ方が足りないので、なんて一週間も二週間も投票を引きのばしたり。ところが一八七二年、これが秘密投票にかわって贈収賄が非常にむづかしくなる。一八八三年には、腐敗選挙防止法ができました、法定選挙費用がきめられるのです。

——選挙法改革は、保守党の下で行なわれていましたし、河合さんの『チャーチル』を読んでも、戦前のイギリス保守党はずいぶん労働者の福祉と権利のために働いていましたね。これは不思議なんですけれど。

河合 特権を持った人間は、それに伴って義務も持っている、という考え方があったんですね。日本でもかつてはそうだったでしょう。武士たる者は。

——腐敗選挙防止法のできた後、買収でひっかけた議員はありますか。

河合 八三年以後はありませんね。嫌疑をかけられた議員はいるが立証された人はありません。

### 選挙の近代化——人よりも党

河合 しかし結局のところ、腐敗をなくすために一番役に立ったのは政党です。

現在のイギリスの選挙では、選挙区に一般議員がいて、党の運動として選挙を行なっています。つまり日本の自民党式の選挙が現在のような選挙のやりかたに切りかわって行く過程で、買収がなくなってきた。

イギリスでは小選挙区制だから、一選挙区から当選者は一人だけ。だから一つの党から立候補者も一人です。日本の場合は、とくに自民党では一つの選挙区から一人以上の候補者をたてますね。すると政策より人——という選びかたになっちゃう。ところがイギリスでは人よりも党ということに

になる。候補者の玉(注Ⅱ人物)はあまりものをいわないんです。

イギリスの有権者にきいてみますとね、自分の支持政党の候補者に例えばブタが立候補しても、私はそのミスター・ピッグに投票する、っていうんですよ。いや実際ブ



タ候補も多いが、なんていってる。

だからイギリスの選挙運動というのは、あなたの支持政党の候補者は何のナニガンですよ、と候補者の名前をおぼえてもらうためなんです。有権者が投票場へ行くとな投票用紙に候補者の名前が刷ってあって、

えらぶ人間の名前に×をつける。ところが投票場へ行ったのはいいが、自分の党の候補者が誰であるか分らなくて困っちゃう人が出てくる。そういうことがないように、あなたの党の候補者の名はこれですよ、と名前をおぼえてもらうのが選挙運動の目的なんです。もっとも九年前から、投票用紙の候補者名のそばに党名をそえるようになりましたが。たとえば、リチャード・ジョーンズⅡ保守党、ってふうに。

こうなりますとね、候補者が買収するといっても意味がなくなっちゃうんです。結局のところ、買収は全国的規模で、政党によって行なわれる、ということになる。

### 民主政治は買収政治？

——党による買収っていうのは？

河合 民主主義の政治というのは、いい政府をえらぶことが結局は自分自身の利益につながるという考え方でしょ。自分の利益を否定したところで政治が成立するとは考えないわけです。ですからね、民主主義になれば、腐敗は必ずおこるんです。この点が大したことなくて、腐敗をなくしたい、という一念のあまり、民主主義を殺してし

まったら何にもならない。

現実には日本はそういう経験をしているわけですよ。政党政治が行なわれた大正時代に、腐敗がおこった。国民は政党政治の腐敗に憤るあまり軍部に走ったわけ。

われわれはね、民主主義は腐敗を生み出す傾向があることを知り、民主主義を守りながら腐敗をなくす、という方向を見つけておさなければいけないんですよ。腐敗に反撥するあまりファシズムに走っちゃ何にもならない。

イギリスの場合はね、個々の議員、個々の候補者の腐敗じゃなくて、それを全国的な規模のものにしたわけです。この党に投票し、この人を首相にしたら、あなたにはこういう利益が返ってきますよ、っていうこと——これは腐敗ですよ。

——まあ利益誘導ですね。

河合 ええ。それが全国的規模で行なわれるようになっただけ。つまり小さい選挙区で一人一人が行なっていたことを、全国的規模でまとめた。これが民主主義の政党政治ということですよ。

——しかし自民党にはタカ派とハト派とか、主流派反主流派なんてあって、必ずし

も政策的に一致していないようにみえるんですけど、イギリスでは政党を選ぶといってもそうした違いはないんでしょうか。

**河合** イギリスではある政党の公認を受けようと思えば、その人が立候補する地区の党組織の党員の指名を受けなければならぬんです。だから派閥レベルの争いはその前に終わっていきなりやならない。ずいぶん激しい競争ですよ。指名を受けるのは。

日本でもそういう傾向はできてきていると思います。例えば自民党は去年から百五十万党员で総裁をえらぶ選挙を始めましたね。やがてわが選挙区の自民党の候補者は地区の党员で決めようじゃないか、という方向に進むかもしれませんよ。実際にはアメリカの大統領選では百五十年以上前からこの方法でやっているわけです。民主党の大統領候補者にカーターと、ケネディのどちらが党内での指名を受けるか、ということから大統領選挙がはじまる。

もし日本の政党の公認候補者を、その党の選挙区組織でえらぶことになれば、もう少し腐敗がおこりにくくなるでしょうね。

### 議員と地元民との関係は

——しかしね、田中角栄が新潟三区へ行けば当選してしまふ日本の選挙民の体質じや、小選挙区制になってもやはり腐敗はおこり得るのじゃないでしょうか。国政をあずかる政治家が地元の利益を代表するといふようなありかたが続くならば、局部的な腐敗はやはり起こるのでは……。



角を橋の牛を殺す

**河合** 千葉二区でも千葉市や他の都市に通勤するいわゆる新住民とよばれる人たちがふえていますね。昔からの地元民がへってそういう人たちがふえ、いわゆる都市化現象がすすむと買収がきかなくなる。ぼくはそこに期待をかけてます。

しかし忘れちゃならないのは、日本では

まだずいぶん生活水準が低い地方があることなんです。議員はその格差をなくすためにたたかわなくちゃならない。田中角栄はそのためにずいぶんたたかたんじやないんですか。その点を見落とすと新潟三区の人々に対して不公平だと思いますよ。

——ウーン……。

**河合** 地元民の利益誘導をしたからいけないということは、ぼくは絶対言えないと思います。地方の格差をなくすために政策をだして、投票を求めるといふことは、代議士として当然やるべきことじゃないでしょうか。

——農民人口が十%台にへっているのに、あい変らず地元の利益誘導タイプの代議士が多すぎる気がするんですけれども。

**河合** 産業構造の変化のために、農村から都市への急速な人口移動があったにも拘らず、議員定数が昔のままという不均衡があります。定数格差の是正をやれば、買収は今よりむつかしくなるでしょうね。

——それが少しも捗らない。野党も一向乗り気になりませんね。

**河合** 議員は自分の不利になるようなことはしませんからね。戦後農村に根を下ろし

たのは自民党ばかりでなく、社会党も中小都市で大分根をおろしていますから。

いろいろむづかしい議論もありますが、都市の議員の数を一時的にふやして、農村と釣合いをとって、その上で全体の数を半分にするのかも考えられます。

——議員の数が多すぎますか。

河合 多すぎるとはしょうね。議員定数の格差を是正した上で小選挙区制にする。それでも単純多数を取った者が当選するとすれば自民党が有利になるでしょうから、比例代表制（註・得票数に応じて議員数を各党に配分するやり方）を加味した小選挙区制が一つの解決になるかもしれません。

選挙のやり方については、ぼくは野放しにしたらどうかと思っっているんです。買収も戸別訪問もしよう。立候補者に会いたければ家にきてもらおうとか、全部の家にきてもらえないでしょうから、運動員に政策の説明にきてくれ、とか、そういうやりかたがいいと思うんです。

イギリスでは戸別訪問が選挙運動なんですよ。

——日本の選挙法はしめつけがきびしすぎますね。

河合 買収されても、有権者がもう少し少しからなくなって、お金をもらうだけからって投票しない、とか。するとこれじゃ割り合わないということになる。

### 議会制即民主主義ではない？

——さきほど議員としての品位を保つための相互規制が腐敗防止に役立ったと言われましたけど、イギリスにそういう伝統があったとしても、日本ではどうもねえ……。

河合 日本では民主主義が行きすぎたんですよ。日本では、民衆が平気で金をもらうから候補者も出すようになる、出す方もわるいからもらう方もわるい、とくるでしょう？ そうなると話がぐるぐる廻りするばかりだ。ぼくは政治家が悪いというところから切らなければダメだと思う。

——そうでしょうか……。

河合 例えば千葉二区。あそここの有権者もともと腐敗していたわけじゃないんですよ。成田空港ができ、自動車道路がひかれ土地ころがしが始まり、俄か成金ができる。そういう中で金を使っても議員に出ようとする。そしてそれだけ金を使ってもモトが取れるというような関係ができてくる。結

局これは政治の問題なんですよ。

そういう中で有権者が腐敗してくる。だから政治家も悪いが有権者も悪い、ということ。国民に反省を求めるときも必要だけれども、どちらに責任があるかといえ、政治家のほうから正す、ということ。政治家は恥を知れ、名誉を重んじる、ということ。とを言っているんじゃないでしょうか。国民がダメなんだわ、国民が反省しなければ政治がよくならないわ、と言っていたら何時までたってもダメですよ。

日本の場合、民主主義即議会制というふうに考えられていますね。しかし議会制と民主主義とは、ちょっと違うものなんです。イギリスの場合ですとね、もともと貴族的な特権層が政治をする舞台として議会があり、そういう議会に議員を送る地盤として有権者があり、やがて人民の中からも議員が出るという組織であったわけ。

日本では議会イコール民主主義だから議員は国民の考えを鏡のように映さねばならないという考えがある。しかしイギリスでは例えば、国民の三分の二は死刑に賛成で、議員の三分の二は反対。そして議員はそれだっかまわらない、という。国民の方

が遅れている、議員は進んでいる、議員が国民を教育すべきだ、これが議会制民主主義だというんです。

国民の半分が女だとしたら議員の半分が女である必要もないし、国民の半分がバカなら議員の半分がバカでなければならぬ理由もないでしょう？

——そりゃそうです。国民は自分にふさわしい政府しか持てないとはよくいわれることとですけど、そればかりでは……。

河合 そう、指導者はよい指導者であるべきだ、ということ。国民が悪ければ悪い指導者を持つべきである、ということにはならないでしょう？ しかしこの考えは、民主主義の中から出てこないんですよ。

——でもそれじゃ、国民自身は、いつよくなるんですか。国民の政治的レベルアップは、一体どこで誰がやるんですか。

河合 政治生活を通じてでしょうね。

### 政治は面白いものなのだ

河合 国民は政治家に政治を任してそれぞれの職業にいそしんで。そして何年に一度か投票する、というのが政治参加ですね。そこで何を目安にして投票すればいい

かというのと、議会が議会での討論を通じて何が問題になっているかを国民に教えればいいんです。議会はその為にあるのだから。

——新聞が議会での討論をくわしく報道し民衆がそれを読んで居酒屋なんかで論じ合うらしいですね、イギリスでは。

河合 日本だってそうだったんですよ。テレビとかその他の娯楽が出てきてダメになっちゃった。政治っていうのはね、自分の利益になるだけじゃなくて、国民にとって面白い娯楽だったんです。ところが役に立つ部分は福祉政策に、面白い部分は他の娯楽にとられ、今や面白くもなく、役にも立たないものになっちゃっている。しかし講社の絵本じゃないけど、政治は元来面白くてためにもなるものじゃないんですか。

だってね大の男たちがやめるやめないうて、五十日間も血相かえて騒いでるなんて、大抵のものより面白いじゃないですか。——その筈ですよええ。(笑)

河合 だからね余り怒らないで……面白い娯楽として楽しむ、という主義で行くのが必要じゃないかしら。怒るとあとで空しくなる。もう少し斜にかまえる姿勢が身につけば、民主主義が育つと思うんです。

政治っていうのはうまい話ばかりじゃありません。うまい話を実現するには税金がかかる。そして一つのいいことを実現するには何か他のことが犠牲になる。誰かを喜ばせるためには誰か他の人に泣いてもらわなければならない。八方美人式政治は本当の意味で政治とは言えない。

今までの政治はすべての人にうまい話を約束してきた。農民には高い生産者米価、消費者には安い消費者米価、その格差は食料管会計の予算で埋める、と。国民の方は自分の税金で穴埋めされているのを知らないで喜んでいる。

ところが低成長に入って大盤振舞ができなくなってきた、大平さんが増税ということを出した。これが本当の政治の始まりなんです。政治っていうのは要するに税金をあつめてそれを使う仕組みなんです。増税というかけ声でにわかには国民の政治意識が高まったんじゃないですかね。かたや選挙をきっかけに役人の空出張とかKDDの密輸とか、いろんなことが出てきて、七九年は悪い年みたいに言われるけど、ぼくはいい年だったと思うんですよ。

(きき手・まとめ 田中喜美子)

## 伊勢原サークル発足

160号で同じ伊勢原市の中尾久美子さんが、「楽しいマイホーム」を投稿されていたのを読み、これがキッカケで、伊勢原市近辺でサークルができました。

第一回目は、メンバーの一人、秦野市の威能さんのお宅に親五人、子供数人が集まりました。最初は少々緊張気味でしたが、やはり同じことに関心をもっている者同士ということと、とても良い雰囲気打ち解け合いました。

その日は顔合せということと、まとまった話ができなかつたのですが、衣食住に事足りて、育児がどんなに素晴らしいことであっても、社会と何らかの関係をもっていなければいけないということと話が合い、これから一カ月に一度の割合で集まりましょうということになりました。

私は、家族のことだけでなく、独身時代のように、自分自身のことを考えるためにナマの情報を得られるのではないかと、このサークルに大変期待しています。

神奈川県伊勢原市 添田すみ子

TEL〇四六三一九四一九二八三

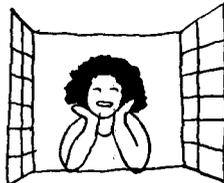
## 横浜サークルより

横浜の方もわずかずつではありますがメンバーが増えつつあり、優秀な主婦に接するたびにああ、こんなに能力のある人が狭い家庭の中のみ埋もれていてもったいないことと、感じます。

人数は少ないしとても地味ではありますが、雰囲気はともよくなりました。

最近、フェミニストの横浜支部の方と交

## サークル だより



流会をもちましたが、同じ方向をめざすものでも、随分体質が違うものだとききました。あちらの方は私たちとは比較にならぬカッコよさがあり、私たちが地を這うようにして悶々とやっているの比べ、一種のサロンのな雰囲気を感じました。一度ぜひ、私たちのサークルにもお出かけくださいませ。

神奈川県横浜市 井上桂子

〇四五―八四三―四七三―

## 柏サークルより

冬晴れの十二月八日午後、柏市中央公民館で五回目の柏サークル読者会を開きました。

前回、体験談を中心として話し合った「主婦の自己活動」について、活動を行なっていく上での問題点を出してみたところ、大きく分けて「活動に必要なお金」「夫の理解」という二点が浮かび上がってきました。何かやってみようとする、とにかくお金が出て行く。どうしたら、夫の理解と協力が得られるのか。

とにかく、夫の側からもホンネを探り出そうと、妻と夫と別々に主婦の自己活動について意見を聞くというユニークなアンケートをやってみることにしました。

自己活動についての話し合いの中から、労働基準法の研究、女性の求職に対する年令制限の根拠、子供の教育に関するタマエとホンネ等々、今後改めてとり上げたテーマが続々と出て来ました。

次回は二月ごろ、アンケート発表をかねて行ないたいと思います。だいたい人数が増えてきましたので皆様のほうから日時をお問い合わせ下さると、助かります。連絡先は、鈴木由美子（〇四七四―四五一六八二四）、四方愛子（〇四七二―一七四一―七七七）まで。



## 重兼さんへ問う

神奈川県横浜市

井上 桂子

作品を読む前に作者についてうんぬんするのは順序が逆だし、失礼は承知しているのだが、前号のインタビューを読んだ限りの範囲で、重兼芳子氏の発言にあえて反論——というより、たぶんイヤ味——を申し上げざるを得ない心境に突き動かされている。「主婦本業をうち出すもの書き」というタイトルがついているが、主婦は本質的に職業ではないと認識している私にとって、重兼氏の発言はあまりに曖昧、あまりに饒舌、という感じがしてならない。

その一。夫に庇護され、食の心配も衣の心配もないぬくぬくとした主婦生活の中で「自分自身の地歩」や居場所を、具体的にどうやって作ってゆくのか。そうした生活の中で「自分自身の内面をふくらませていく」とは、具体的にどういうことなのか。そんなことが本当に可能なのだろうか。精神だけの自立、精神だけの豊かさなんて、本当にあり得るのだろうか。実際には社会経済の機構や職業上の評価に直接関わることなく、情報や書物によってそれらを知ることが可能だろう。読書や趣味やボランティアやおけいごとといったものを通じて教養を深めることも可能だろう。そして「内的な問

## 対話のページ

いかけ」「内的な哲学」を深めることも。

しかし、それが精神的な自立といえるだろうか。机上の学習や内面の充実が。自らの稼ぎによってでなく、夫の稼ぎの多少によって購読する本の数が増えたり減ったり、夫の時間の都合で講座やその他の外出が可能だったり不可能だったり、夫の転勤にしたがって付随してどこまでも移動したり、自分の意志で自分の親の面倒が見られたり見られなかったり、お茶を入れてやっても入れてもらう自由——権利ではなく——を持たず、靴を磨いてやっても磨いてもらう自由を持たず、さまざまな相対的な、要するに人間として決して対等ではあり得ない夫婦の状況の中で、どんなに精神の充実を誇示してみても、所詮、人の手のひらの上、自由も「自立」すらも与えられているという、おかしな論理の堂々めぐりではないのか。

精神の土俵を持っていなくては「形だけが先行したみせかけの自立」といわれるが、先行した形の中で内面をふくらませていくということも可能ではないのか。はじめに精神の自立があるのでなく、出ることによって真実が見えてくるというところも。そして、大きな歴史の動きというものはそうしたものでないのか。

その二。「相手を変ええるために戦うっていうのは性に合わないの」「私ってね、他人と協調してやる仕事は苦手なんです」という自己分析は、ある意味で非常に余裕のある主婦的状况のものではないだろうか。自分がこうだというのではなく、知らず知らずのうちに主婦的状况の落とし穴に落ちこん

でいった結果として「必要以上に気を使わずにすむ」「ものを考えたり一人でいることが気兼ねなくできる」「戦わずにすむ」主婦が「わりに好きになる」ということもあり得るのではないだろうか。そして、世の中には、いくら苦しくても戦わずにはいられない、他人と協調して仕事をやらざるを得ない女性もいるのである。そうした女性の方が、むしろ多いのかも知れないし、そうした女性の足をひっぱるものとしての社会通念を支えているのも、もしかしたら専業主婦なのかも知れないのである。そうした視点に立つ時、これらの発言がすべて、ある曖昧さを帯びてくるのである。

その三。「文学なんて、家庭を犠牲にしなければならぬほど大それたものとは思いません」という発言について。インタビューの最後にもあるように、「衣食住に満ち足りていても、どうしても満足できない飢えを心の中に抱いて」「どうしても書かずにいられない」のが小説書きであり、どんな状況の中であれ、抑えても抑えても、噴出してくるのが、結果的に小説になり文学になるのであるならば、家庭を犠牲にするのではなく、犠牲になどする気はなくても結果的に犠牲にせざるを得なかったというのが、誠実な人間としての作家なのではなかったのか。作品とはそうしたものではなかったのか。

無論、犠牲にしていけないことではない。犠牲にするとかしないとか、そんなことは問題にもならないところで、生命活動の必然として生まれてくるのが文学であり芸術というものではなかったのか。そういった意味で「文学なんて……」

## echo

という発言も、作家とは「絶対に幸せにはなれない仕事」という発言も、なにか不自然な余裕をもって私に迫ってくるのである。

ただ、これまでの歴史の中で、男性作家の蔭に必ず多くの無名の女たちがいたことは事実であるし、男性は、ともかくにも家庭を犠牲にしても作品を産み出してきたのに対し、女性にそれができにくかったのは、歴史の必然もさることながら、高群逸枝氏の、いわゆる男の個人我に対する女の母性我という質的な相違もあったのであるが、それについては又の機会にゆずるとして、近いうちに私は受賞作の「やまあいの煙」を読むつもりである。



翼をください

愛知県武里町

荒木李恵子

「今私の願い事が叶うならば翼を下さい。この背中に鳥の様に白い翼つけて下さい。この大空を翼ひろげ飛んでいきたいの」

これは、三カ月の闘病生活の中で毎朝歌う娘の心の叫びなのです。みち子は高二の一番幸せな夏休み、クラブの合宿を終えた頃から体の不調をきたしとうとう九月一日より高熱に見舞われ難病の診断を受けました。三度目に移ってきたこの

病院でようやく目前に光がみえてきました。この夏の心労や疲労だけで発病したとは思えませんが、長年の悪条件が重なり合った勢でしょう。ここ数年働き続けた私にも責任があると思います。口では、「家族の健康管理は注意しています」とはいいいながらも朝食はパン＋ハムエッグ（又はサラダ）牛乳位ですませ七時には家を出ていました。

みち子の弁当はおかず入れの小さなものなのに文句もいわず見過ごして、一週間のうち一回は弁当作る時間がなく、「今日はパンにしてね」といいました。夕食も疲れた日はマーカーットのコロッケや冷凍食品の焼売だったりのこともありました。悩みを聞いてほしいらしいみち子の気持ちは察していても、食後は自分の仕事が生山のようにあり、声をかけることもしないですませ、思い上がりの私はただ貯金のふえ方に有頂天になり、社宅を脱して一軒家は建ちました。家族が協力し合っているといても、私の仕事はみち子にやらせる結果になり（掃除洗濯）十六年のうち病気がしたこともなかったこの子に、こんな難病を背負わせてしまいました。娘の体は思春期にがらりと変わるといふことも後で聞きました。

この様に反省しますと友は「貴女だけの責任ではないよ」と慰めてはくれませんが、他の人と違って勤め始めると、自分の仕事に夢中になる私、朝八時から夕方五時まで勤めて、又夜は仕事を持ち帰るといふ私の職業は主婦としては無理だったのでしょうか。でも同じ仕事の人は大勢おられます。やはり私のやり方がいけなかったのがす。

みち子が発病してからきつぱりと仕事をやめ、ずっとそば

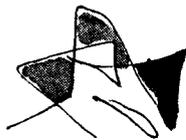
## 対話のページ

についていますが、

「お母さんのぬくもりがほしい」とか「今のお母さんはやさしいのね」とかいわれると、私の顔は涙でくしゃくしゃになるのです。

でも同じ病名で、もっとひどい人も何人かいらっしやいます。「上を見ては悲しいだけ、下をみて頑張ろうね」と家族四人が一生けんめい助け合っている現在です。

16号の「たていとよこいと」で竹内よし子さんの文を読ませていただきました。悪いことばかり続いた不安を乗り切つて、今の幸せをかみしめておられる様子がうれしかったので私も自分の不幸を書いてみたくなりました。この次にはきつとうれしい気持ちをお知らせできるのを信じています。



### 無農薬野菜の味

福島県いわき市

大川原みち子

今から二年程前、埼玉の団地で「土の会」という無農薬野菜の共同購入組織があり私はその団地の責任者兼会計係をしていました。野菜は、あの有名な三里塚からきていました。野菜はプラスチックの大型ケースに入っていて種類は季節の品物で冬なら里芋、大根、さつまいも、ごぼう、人参等々十種類位宛入っていました。だから献立は来た野菜に合わせて立

てるので当然同じ物が続くという結果になりがちです。ナツバなどは虫がついていてお金を払う気になれないような品物があります。責任者としては班員から苦情を聞かされその苦情を作る人に取り次ぐと、

「本当に無農薬を食べたくていってるのかねえ」

といわれる始末で間に立って辛い思いをした事もあります。

家族からは、

「また、里芋の豚汁か、たまには、じゃがいもの豚汁も食わせてくれ」

といわれるし中途半端な気持では乗り出せません。しかも私の家は三階なので、トラックがおくれて午後の九時にきたりすると電話連絡しても、

「もうお風呂に入ったから湯ざめするから取りに行けない」と断られたりして三階迄五十kgもの野菜を運び上げたりして次の日は腰が痛いという始末です。狭い団地の玄関にプラスチックのケースが四つも五つも積み上げられ出入りに危険すら感じられます。そして翌日すぐ取りにきてくれれば良いけど、

「夜、主人が帰ってきてから車で取りに行ってもらうから」などといわれ夜十時迄待ってもこないで、寝ていると取りに来られたりして、ナツバなどは、しなびてしまっ、はらはらさせられ通してした。その他にも粉せっけんの共同購入やパンの共同購入もやっいて、2DKの我が家は棚という棚を総動員しても頭の痛い状態で、本当に疲れ果てました。そんな思いをしても、「お金を儲けるためよ。只で何かやる人

## echo

など今時誰もいないから」  
と陰口をきかれ落胆させられたものでした。

友人からも

「お人好しも良い加減にしないさい。このままでは家庭も破壊しちゃうよ」

と忠告されなぜこんなにしんどい思いをしなければ安全な食品は手に入らないのだろうと考え込んでしまったこともありました。

現在の家は4DKで娘も上京して広々としていますが、友人が一人もいないので、やむを得ず全部スーパーストアから購入しております。近くの川の河川敷は自由に耕作しても良いことになっていきますが鍬やらスコップやら道具も要るし、ちょっと手を出しかねているところです。来年からは新聞販売店を経営することになっており、そんな方に手をのばすことなど不可能でしょう。全エネルギーを経営に振り向けねばならないでしょうから。

### なぜ「家庭の日」なのか？

日時 二月二日(土) Pm 一、三〇〇、四、三〇〇

場所 渋谷勤労福祉会館(渋谷パルコ前)

リポーター 樋口恵子さん他

新しい国民の休日として「家庭の日」を政府はつくるようにしています。家庭尊重、主婦尊重のけっこうな試みのように一見思われますが、よくよく考えると、主婦が主婦以外のものに転身できない危険な伏線がひそんでいるようにも思われるのです。どこがどう危険なのか、この集会に参加して一緒に考えてみましょう。主催は「国際婦人年をきっかけとして行動をおこす会」です。

(編集部)

特集

ウサギ小屋からの

脱出



ウサギ小屋と悪口いわれる小さな家。  
中にはテレビ冷蔵庫をはじめとして、あらゆる文明の利器がばいばいつまり、応接セットやベッドまで押し込まれています。負しい住生活の中で、それでも模様かえなぞ楽しむ、私達の現実を訴えました。

## 自業自得???



東京都日野市 松田 治子

私は団地住い、(2DK・賃貸)。家族構成は、夫(46歳・サラリーマン)、長男(小学校5年生)、それに自身(44歳)。結婚年数15年(内、共働期間2年半、昨年からは、内職に奮闘中)。団地に入居して9年目。現在の切望、もう一部屋欲しい(公団の規則で、3人家族では2DK迄が限度)。

年令、結婚年数から考えれば、すでに分譲マンションあるいは小さな一戸建を所有しているか、あるいは持つために悪戦苦闘中であるのが平均的姿であるようですが、どうやら私どもは「落ちこぼれ組」です。うかつなことながら、私自身、「自分には家がない」と、はっきり自覚したのは、ごく最近のことです。勿

論、今迄も、どれかに住んでいたわけですが、家賃を払っての仮住い。結婚当初から、その問題について、両親などから忠告を受け続けてはきましたが、素通りしてしまっただけがあります。それには、第一に、夫の「持家に対する欲求」が稀薄なことがあります。私もまた、認識不足であったことを反省する昨今です。現在、住宅について考えるとき、広さということは重大な条件で、ウサギ小屋云々も、小屋の出来の良し悪し以上に、面積に対しての驚きから発していると思うのですが……。その点では、私の場合、むしろ恵まれ過ぎて育ちました。

大正の末期、母が嫁いだのは、神奈川県うんねんの小さな町の旧家で、(父は当時、東京に勤める官吏)、家屋敷は、「だだっ広い」という言葉にふさわしいものでした。そこに生れ育った私たち子どもは、庭や庭つづきの持山をめぐり歩くだけで結構気晴しになるといって、今にして思えば、ぜいたくな環境にあったわけです。しかし、主婦である母は、(都会で生れ育ったせいもあり)広く、古く、不便な家での家事に、全く忙しいうでした。年寄、病人をかかえていたこともあり、自身の楽しみなどひもとかれる余地のない年月だったと思います。それを見て育った私が、小じんまりとした家にあこがれたとしても、決して不思議なことではないでしょう。

結婚に際しても、なるべく家事にわずらわされない

ような方向を望んだものでした。もっともそれは、家屋の面だけでなく、嫁姑の問題とか、男性中心の昔風の家族関係からの脱出をも意味していたに違いありません。

ともかく、望みかなって、小じんまりし過ぎた？

アパートが、私の生活の場になりました。後、三十何回目かの申込で、めでたく公団住宅が当り、あこがれの？ 団地住いのはじまったわけです。時は流れ、予想より早いスピードで成長してゆく子どもの姿を見るにつけ、ようやく、自分の家を欲しいと気がつきました。

しかし、住宅事情は、日増にきびしく、非力な私どもには手の届かない存在になるばかりです。自業自得でしょうか。

うさぎ小屋にも及ばぬ小屋に育っていく息子よ、親の過ちを繰り返さず、頑張って、立派なお城を獲得しておくれ！

## ウサギ小屋から

### ウサギ小屋へ



東京都目黒区 亀山 和枝

以前、労災関係の文献で、都内北部の団地をサンブ

ルにした住居面積の人体への影響調査を目にした。個人的な活動に必要な広さ（記憶では3.5畳？）に欠けると、子供は性格、学業（遺伝的要素に優先して）に響き、大人は労働意欲も衰え、酒量のみ多くなる傾向、との指摘であった。互の個人空間を侵し合いつつ、テレビの前に一列に並ぶしかない生活！我家も然り。

我家は48年春迄月三万の家賃を払い、更新を控えて頭を抱えていた時運良く官舎（月一万二千元）に当り現在に至っている。2Kを2DKに使い、大型本箱五つに余る本を持ち込んだから本と人の共存が当時の問題であった。今に思えば、まだ長閑なもの。二人目が生まれる際には、殆んどを里に送り出してやっと子供を収容する始末。かつて中学で、住居は親子の就寝、寝食、家事労働の三分離を充たすことと習った頃は「何のことやら」であったが、今や具体的大問題。日がな一日、家の中で交通整理である。子供がゴミに見え、嵩張る夫の帰宅は程々に遅いが結構。友達とグラス片手に談笑してりや、襖はずれて寝ている子供が溢れ出て来る。限界！と音を上げる昨今、住宅使用期限も迫り来春また転居である。

同じ貧乏なら「引越し貧乏」よりはと、母を地主にして私達は小屋を建てる（増築予定として母との将来も同時解決）計画をした。当面の小屋ならば公庫からの借金で済む。がドッコイ、土地のみより建て売りの方が利益が大きいために通勤圏に売地は少なく、ク

## ●特集投稿

ジ運はサラになくて計画変更となる。通勤先からも借金をすることにし（将来のことは棚上げで）公団、民間マンション、テラスハウス等の公庫付きを考える。またこれどこも抽選である。劣等生の入試のようなもので、金額、距離、広さが折り合うとただに申し込む。郊外電車には詳しくなり、が何処の何を申し込んだやらモウロウとして来た頃にやっと当選であった。一年前のことである。今年の値ではもう手の出ない私達であればキャバレーまがいの名称でも細部不案内でも（Gパンだって試着するのに！）宿無しだけは免れた、とでも言うべきか。

事ある度に夫と話し合うのは生活の中身と器のバランスであったが、現実はこの問答の外にある。祖母は「有るが貧乏ナイショの真似は出来ない」とチミモウリョウと共に広い家を守って居るが、今の一代ごとの出稼ぎ的な勤め人家庭で家は「守るもの」や「一生の買い物」であっては収支が合わない。器のための生活などマッピラだ。それでも多少広くなるもの夢はある。夫が早く帰っても溜息なんてつかないで（通勤時間を考える！）友人とゆっくりして（在に誰が立ち寄るか！）私の机を持つ（今に子供も嵩張るよ！）：それなら安売りのペーパー類を買いだめる場所くらいあるだろうか。かくして我家はまたもウサギ小屋、しかも今度は女と子供だけの……。

せめてこの借金航海に幸あれ。

あきらめました



千葉県市川市 柳本 繪子

私は二つの理由でマイホームを持つことを断念することになりました。一つは何とんでも値段が高過ぎて私達には早、高嶺の花であること。相手が申すには一時間以上の通勤時間は絶対妥協できぬ条件であって、現在住んでいる市川でも遠いというのだ（一時間弱）、ちなみに最近近所で売りに出された土地35坪、4DKの家で四千万円でありました。私達の返済能力を考えると二千万以上の家は無理ですのであちこち捜したのですが、反対にそんな安くて良い物件があったら紹介してほしいとまでいわれました。

柏市に土地50坪、3LDKが千八万円であるというので飛んで行ったら、何と道がないのです。前の庭を通らないと入れないというメクラの土地で、浄化槽も自然浸透式で下水設備がなく、雨降りがちょっと続くとあふれて無惨なことになりかねない。次に稲毛のテラスハウス（連棟式建物）を見に行きました。専用庭があるのが魅力だったのですが、あっと驚き！屋根がないのです。キャンピングカーが何台も並んでいる

という感じ。天井が低く窓が小さく何もかもコンパクト。これでは断熱材に相当の心配りがしてあるといっても真夏の暑さは想像を絶する。あこがれの庭があるといっても五坪程度のその庭は共有部分であって、同じ棟の全員の賛同を得ないと勝手にできないというのだ。ヘソ曲りの人が一人でもいたら泣かされそう。ここが二千万。その他この一年余あちこち見て回ったけれど何しろ高い——。

新築は高過ぎるので中古はどうか——。田舎に行けば完全に一軒の家の所有面積であろうと思われる土地に敷地面積十五坪、3DK庭全くナンの家が十軒も並ぶ。(完全に違法建築だ)。その中の一軒が現在の我が家。(借家) 隣家が千三百万で売りに出された。完全に浄化能力を越えている汚物処理用の浄化槽が道の真中を占領し、その匂いで頭が痛くなる程。雨よりもひどい。そんなことは恐らく住んでみなければ分るまい。中古の家は余程のことがあるから手離すのであって注意しないと修理、改造費に相当かかるし、公庫資金も駄目、税金面では新築の方が恵まれているし、安い買い物をしたと思ってもけっこう高くつきそうだ。もうひとつの理由は相手が全くその気がないということ。六年前に、転勤があるので土地だけは確保しておきたいというので、(通勤時間一時間半の所)六十坪の土地を購入したのですが肝心な時にいつも逃げてしまふ。銀行だけは「御主人がこなければお金は貸せま

せんネ」といわれて渋々私について来たという感じ。登記所、市役所の関係書類は私がかけずり回った。その後も俺は関係ないという態度で現在に至っている。十五年返済のところ、がんばって昨年夏返済して抵当権抹消の手続きを頼んだら三ヶ月も放っておいて、結局は有効期限がきれてしまつて、騰本の付票もとり寄せるという余計な仕事迄プラスされて、また私がかけずり回った。相手が全くその熱意がないのだから仕方がない。あきらめました。息子達よ甲斐性のない親を許したまえ。

### ウサギ小屋を購入するまで



千葉県佐倉市 久恒 洋子

あれはたしか昭和四十年春のことだったと思う。知人から「場所は千葉、駅からは一寸あるがバスもあるし、今団地を造っているのだから、それが出来上れば、便利になるぞ、土地が三十坪、建坪は十坪たらずだが新築で百万、但し即金」という話があった。

その頃、私達は六疊に小さな台所がついて家賃、八千五百円也のアパートぐらだった。二人の給料を合わせても六万そこそこの生活。土地付で百万は安い

## ●特集投稿

が、大金だ。次の日曜日出かけて見た。

駅を下りると、団地が出来る様子で、真直ぐ一本大きな道がのびて居た。その中を通り十分足らずで大通りへ出た。バスは一日数本しか通って居ない。十分も歩いたろうか。家はなくなり、低い山と、田んぼばかりになった。「こっち」「こっち」と案内された道は大きな石が「ゴロ」「ゴロ」した急な坂道だった。すべりながらやっと昇り終えたら、右側が畑、左側に大きな家が一軒建っていた。それらしいものは見当らない。すると今度は又、「こっち」「こっち」と山の細い道を下りはじめた。下りると、目の前に陽当りの悪そうな田んぼがあり、それに沿って囲ると、あった。小さな「家」らしきものが五軒、まるでかくれ家のように、畑を竹で区切り、最小限の経費で建てたという姿で——陽当りは良い。外から見ると、それは「家」とは程遠いものだった。四・五疊と六疊、台所が三帖位、バス、トイレ部屋に押入はあったが小さい。囲りが広いせいか余計せまく感じられる。

資金の方は、二人の退職金を引当てに会社からの借入と、不足分は両親から、「有る時払いの催促なし」で借りた。十二月初め引越した。二軒一緒の引越しで、さびしさはなかった。静かだ、枯葉の落ちる音が聞える程。空気もきれいだ。夕方の西の空は毎日、影絵を見るようだ。それも一日とて同じ日はない。

冬、当り前のことだが寒い。今迄より一時間遠くな

り、二人で六時半には出なくてはならない。窓ガラスには氷の結晶が咲き、庭一面真白な霜柱が立っている。夜、たまに早く帰ると、道が凍っておらず、霜だけで靴のまわりに泥がこびりつきひどいものだった。

購入して間もなく雪が沢山降り、すっかり閉じ込められたことがあった。その後が又、ひどい。道はまるでおしるこのようにどろどろになる。春はわらびを採ったり、うぐいすの鳴き声、木々の芽が一せいにほころび、畑の麦が三十cm位に伸びた時は、グリーンのじゅうたんでも敷きつめたよう、犬迄が喜んでその上をゴムとびでもするように跳ねた。ただ、春一番には泣かされた。空一面が赤茶色に染まり、黄土が部屋の中迄降ってくる。夏、その頃はまだ「ほたる」もとんで居た。秋の「きのこ」採り。恐ろしい山火事も見た。つとめもやめ、家も廊下をつけたり、外壁をつけ、借金も返し、自分の家らしくなった五年後、仕事の都合で通いきれなくなり売却してしまった。

なくともすみませす

マイホーム



高根県益田市 空 修子

現在私の住んでいるアパートが3DK。親子三人で

どうかくくらせる広さだ。ただ庭がないので庭のついた県管住宅などに住んでいる人たちをうらやましくは思う。しかし、子どもは自分の家に庭があつてそこで一人で遊ぶより、大勢で路地を駆け回つたりしている方が好きだろうし、大人の私も、きれいな庭をながめたいと思えば、散歩しながらその家の庭を擧越しにながめるだけでも楽しめるし、草花の手入れをしたければ公園の片すみに花を植えてみることもぐらひは許してもらえらるだろう。そんなわけで別に今の所から脱出したいとは考えていない。

またマイホームなるものを得たいかについては、これまで別に望まないのである。マイホームとか、マイカー、こういったものは、あれば便利で住みよいかもしれない。しかし、無くつたつて別にかまわないものではないだろうか。マイホームがあれば、壁の色だの床の色だのいろいろ工夫できて楽しいだろう。しかし、なくても世の中、もっともといろいろ楽しめることがあるはず。月々の家賃が、マイホームを作つて支払うローンよりも高くつくとなると話は別だが、

持たざる者のひがみのようなことを述べたけれど、誰しもある程度の広さの所へ住みたいもの、それを出来なくさせている何者かに対して腹が立つ。

余分なことになるけれど、津和野で森鷗外もりおうがい、西周の旧居を見て来た。昔の人は偉い人でも小さな家に住んでいたものだなと変な所で感心した。

### わいふバックナンバーリスト

バックナンバー、次の号が多少残部がありましてご希望のかたは早目にご注文ください。郵便局そなえつけの振替にわいふ編集部東京五―一〇四三〇とかきこみ、裏にバックナンバーの号数を書いて注文下さい。電話でお申込み下されば振替用紙を同封してお送りいたします。

一四四号 なぜ結婚するのか

\* 一四七号 女と政治

\* 一四八号 ニューファミリーの実体

一四九号 産む性から医師へ

\* 一五二号 男らしさは作られる

一五三号 老いとの戦い

\* 一五四号 活字ばなれの子どもとおとな

一五八号 主婦の半自立・パート労働

一五九号 同居か別居か

一六〇号 子どもを預ける

一六一号 家庭の中のセックス

\* 印は残部僅少です。定価は一四四号のみ

三〇〇円、他の号はいずれも三五〇円です。

(送料二冊まで120円、三―四冊まで、160円、

五冊―九冊200円)

ドライバーで丹念に、扉の錠のねじを外してしまふ。誰にも気づかれずに家の中に入りこんでしまえば万事OK。その日から、その家に住みつく権利は侵入者のもの——。家主にも、警官にも、彼を追い出す権力はない。日本人の常識の度肝をぬくこうした「空家（ブレイク）のつとり」が、ついこの間までイギリス中に横行していた。その数、およそ十万人（〃）。ウサギ小屋に住む日本人から見れば、イギリスに住宅難があること自体、不思議に思える。実際、テレビに出てくる労働者の住宅でさえ、平均的日本人のすみ家に比べれば、上流階級の住まいとおぼしい。

しかしその実、イギリスにも家のない人びとが二十万人もいる。おびただしきスラム。地下室でさえ週十二ポンド（六千円）もの家賃。安い公営住宅の絶対量が不足なのだ。

日本人なら、公団や都営住宅の選に外れたら、何とかマイホームを手に入れようと、住宅ローンを支払いに汗水たらすところなのだ。イギリスの空家（ブレイク）乗っ取りの考えは違う。健康で文化的な住居を手に入れるのは人間の権利なのだ。そうした住居を国民のために提供できないのは行政の怠慢だ。住宅が足りない足りないと言いつつ、イギリス中に、

空家が八十五万軒もあるのはどういうわけだ。

家をよこせ、部屋をよこせ。

スクオッターたちはこうして、改築待ちで無人化している建物を次々と占拠して、住みつけてしまふ。団地全体がスクオッターに占拠されて、さながら現代社会からの解放区の様相を呈しているところもある。

無法ともいえるこうした行動が、法の規制

## 住宅難への抗議

—スクオッティング—

を受けないでまかり通っていた背後には、一八三一年に制定された法律、

「王は、腕力や多人数の力によらぬ、法に許された、平和で穏やかな態度のものを除いては、いかなる土地や住居にも侵入すること（を禁ずる）」が生きていたからだ。この法律は平和的に空家に入りこみ、住みつくならば、違法にならないということにもなる両刃の剣

だったのである。法治国家のおかしさだ。

ロンドンで、自分自身スクオッティングを実践してきた鶴田静さんの「イギリスの美しい町」（晶文社刊）を読むと、住宅問題に関する日本人の権利意識のなさを、今更に思いしらされる。

いかに国土がせまいとはいえ、家を持つ者と持たない者、土地を持つ者と持たない者の差が、ひどすぎる。

ウサギ小屋一つ手に入れるために、庶民が一生汗水たらしてローンを払いつつける、これが当然のことなのだろうか。

誰しもが、あんまりだ、ひどすぎる、と思いつつながら、「家よこせ」の市民運動ひとつ燃え上らないのは、住宅問題が政治の問題だという認識が、国民の間にまだまだ不足しているからなのだ。

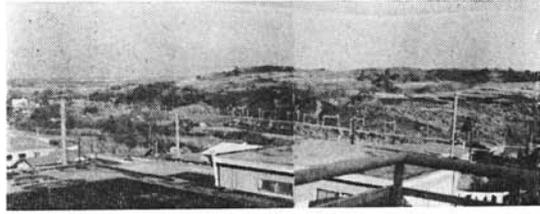
「家のない人びとに空家を開放せよ！」一九六九年、ロンドンのロン・ペイリーのはじめた空家（ブレイク）乗っ取りの運動は、福祉と住宅改善を要求する火の手となって、イギリス中にもえ拡がり、それから十年、いまだにもえ続けている。

最後に。日本全国にも空家が二七〇万戸あることを、知っていますか？

(K)

# 耕して天に到る

## 多摩丘陵の変貌



写真上  
十五年前造成はじまる



写真左  
丘陵を覆う住宅群

新宿を起点に五十キロ程西へ、八王子高尾を終点とする京王線は、首都圏の中で全線「東京都」を走る唯一の私鉄である。この線は一昔前まで武蔵野、多摩丘陵と呼ばれ、徳富芦花が「自然と人生」や「みみずのたわごと」を書き（住んでいたところは「芦花公園駅」となっている）、明治天皇が狩のため二度も行幸されている（「聖蹟桜丘駅」、都民の散策やハイキングには絶好の場所であった）。

また、三十数年前の戦争中は調布から高尾にかけて、都心部からの疎開者が戦火を避けて移り住んでいた。

ところが現在は人口の都市集中のあおりで、住宅が沿線ぞいにアミューズの如くに広がり、今はかつての面影もないという。多摩丘陵がどんなに変わり果てたか、師走の小春日和の一日、高幡不動を中心に歩いてみた。

### 高幡不動今昔

高幡不動駅は新宿から四十キロ、特急電車では三十分の所要時間だ。駅を脊に右手の百メートルほどは「高幡山金剛寺」の門

前町で、初詣や毎月二十八日の祭には周辺の老若男女で賑わう。また十数年前に上野の分園として「東京都多摩動物公園」ができて、自然に近い動物の放し飼いをしているという魅力から、休日の親子連れが三五五集まってくるという。

そして近年は中央大学はじめ幾つかの大学が移転してきたので、学生の数は万を越え、住民の増加とともに、駅は終日人で溢れている。

土地の人には「お不動さま」と親しまれているこの寺は、開山大宝（七〇一）以前という古い寺で、仁王門（重文）をくぐって不動堂には線香の煙が絶えない。

境内をすぎて山道を登る。四国八十八カ所の石仏が点在する。四国まで旅立てぬ東国の庶民の為に、この山を一めぐりしてその願いをかなえられるように、現代風にいえば「ミニ四国巡礼」ができるようになってくる。

木の間がぐれに登り切って、あっ、と驚く。家、家、家。多摩丘陵はこの高幡不動の一画を残して蔓の連なる住宅群と化していた。

明治二十五年十二月七日、正岡子規は友

人内藤鳴雪と共に「俳道修業に出でん」、と新宿から高尾に登り

山の頂に上れば八百里の平原眼の力の届かぬ迄広がりたり

と書き、帰路高幡不動に至って、

『朝霜や藁家ばかりの村一つ』

松杉や枯野の中の不動堂

小山を廻りて寺の門に至る。石壇を上れば堂宇あり。後の岡には処々に亭を設く。

玉川は眼の下に流れ武蔵野は雲の際に広がる。

玉川の一筋ひかる冬野かな 鳴雪

（現代紀行文学全集より）

と紀行文を残している。

八十余年たった月も同じ十二月、ここに立てば、藁家の村も枯野も消え果てて、一望はるか家の連なりであった。もっとも子規は一泊二日の旅、こちらは三十分のスピードで同じ処に立っている。

建売り一軒五千万円

明治の幻をふり払い、かつての尾根伝いに歩く。両側はそれぞれ趣向を凝らした家並が続く。コンクリート壁に「ハイキング

コース」と矢印があった。一昔前の名残りで、二駅先の平山城址公園まで格好のハイキングコースであったこの道も、目的地までほとんど住宅地となった現在は、地図の上でも抹消されてしまったようだ。

尾根の南も北もすべて住宅、眺望は良く晴れば、中央アルプスから秩父連山も見られるとはいうものの、傾斜地に建つ家々は毎日の通勤にも買物にも坂を上り下りしなければならぬ。高い靴などはいはいての胸つき八丁上り下りは、ぬぎ捨てたくもなる。上を見ないで、黙々歩く。

ここには数人の「わいふ」会員が住んでいて、このルポに協力してくださる。

まずYさんの家に着く。昭和三十九年に夫君の会社が数十区画を購入し、社員に安く販売した一つで、当時坪一万八千円、五十四坪の敷地に住い二十坪で二百五十一万円だったという。

このあたりは大手土地分譲会社が数社でそれぞれ開発したので、区画の大小があつて「M」と「D」か「K」とかと住人の間で町名のように呼ばれている。「あの方のところは「M」だから坪数も大きくて、南斜面で一等地」などと言ひ合う。

結婚当初からここに住んでいるYさんは、「まだ動物園行きの電車も開通していなかったし、バスやタクシーもほとんどないので、駅まで二十分は歩いていました。はげ山になった造成地にポツンポツンと家が建ちはじめ、買物は立川や府中まで電車という「陸の孤島」でした」

四年ほど前、夫君の両親と同居することになり、家を建て替えた。広さ三十六坪で取り壊し料含めて千五百万円程かった。

Sさんの土地購入は昭和四十一年。六十七坪の敷地を坪単価三万八千円で、土留めをして四万円になったから、合計二百六十八万円だ。両親からと都の住宅資金（当時百五十万円）を借りて十六坪の家を建てる。

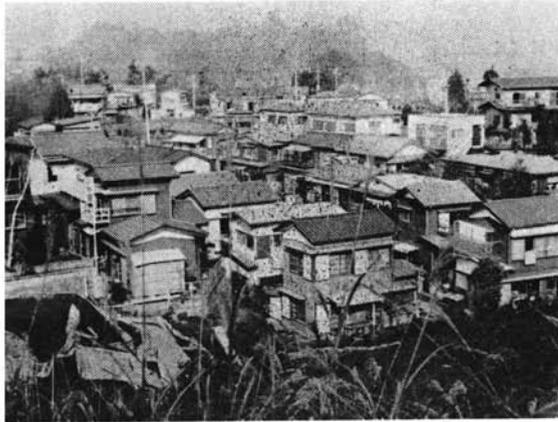
月給二万円の頃で、月々定額、ボーナスで十万円の返済は手元に残るものではなく、つらかった。

二人の子供が大きくなってきたので、やはり四年前増築。現在は三十九坪の家に住んでいる。

「四畳半一間の木賃アパートにいて、何とか公団住宅にと十数回申込んで全部落選だった。公団の高い家賃を払いきれないと

いう事情もあって土地を探したので。あの当時は都心に育った私の「都落ち」と嘆いたけれど、家族の変化に対応できる一戸建に住む幸運に恵まれた。けれど、返済はずっと続いている。駆け足で上っているような息切れがします」

現在この坪単価は六十万円を上まわっているといい、近くに建築中の建売住宅は敷地四十五坪、床面積三十二・五坪で「五千万円」とあった。



ある夫は新居に移った日、「ああ僕とはうとう身売り芸者だ」と思わず叫んだという。夫族の嘆きが聞えるようだ。

昔は生活のために娘を売る親が多くあったが、今は住む所を得るために、一家の働き手が借金の抵当に入れられ、身売りしているも同然になってしまった。

大学卒のサラリーマンが入社から定年までに得る生涯賃金が一億一千万〜三千万円という。住宅借入金是非常な重みだ。

高度成長の波に乗って収入の増加を喜んでいるうちに、住宅丸という船は遙か彼方、庶民の手が届かぬところに行ってしまったようだ。

### 消えゆく緑

YさんやSさんの住む五十坪から八十坪平均の一戸建の分譲地に沢山の家が建ち並んだ頃、向いの丘に公団住宅の整地がはじまった。今思えば高幡に昔から住んでいた人達にとっては、Sさん達の宅地も緑の破壊者であった、というのだが、

「公団住宅は自然を破壊する。緑を守ろう！」

と住宅公団建設反対の署名運動がはじまった。遠く眺める緑の森がマッチ箱の乱立になってはかなわぬ、という気持が新住民の結束をかためた。

結果は敗北。住宅公団が土地を獲得すると生活環境が上って、その周辺が開発されるというから、計画は大手分譲より住宅公団の方が先だったかも知れない。

とにかく次々とブルドーザーが緑の木をなぎ倒し、昭和四十五年には七十三棟、千七百世帯の大団地ができ上ったのである。

確かに壮観、長方形の建物が陽に映えて白く光っている。

急坂を下り、急な階段を上って団地内に入り振り返ってみると向うの丘にY、Sさん達の住宅が幾千軒と群がっている。

平地の少ない山間部では生きる為に、山を頂上まで耕し、畑を作ると言うが、相対する丘陵に一戸建て住宅と集合住宅の群落はまさに「耕して天に到る」である。

### 狭いことの悩み

団地の中は賃貸住宅と分譲住宅に分れていて、ここでも「わいふ」会員のお話を聞

くことができた。

賃貸住宅にいるMさんは2DK、AさんとNさんは3DKに住んでいる。家賃は約三万円、家族はいずれも夫婦と小学校上級と中学生の四人。

三人とも昭和三十年代の末に結婚生活に入り、都心の木賃アパート六畳一間六千円に住んでの共稼ぎ。戦後の民主主義の洗礼を受けた世代は、親と離れて自己の確立を願って、この形をとった人が多かった。

第一子出産と同時に職場を去ったのも、あの頃の女性の典型的ケース、そして住宅難に直面し、落選十数回のうちここに入居した。子育ての一段落した今、再び職業についている。

「集合住宅では階上の騒音や水漏れの不快さはあるけれど、環境の上では恵まれているので、母親が仕事に就く場合は子供達に對しての不安はない。しかし、何といっても狭いのです。

再び住居難と、今度は一戸建を志向して探してみると異常な値上り。これ以上遠くに行くことは物理的にも無理、新婚時代を安穩と過したしっぺ返しという感じですが」  
今度の方針として、Mさんは「開きな

って、このまま住み続ける」といい、Aさんは「自分の勤務先に近い民間マンションか、店舗付住宅を買って独立（服飾関係）する。その為の資金を確保したいと頑張っています」

Nさんは、親の残した土地を遺産としてもらってある。しかしこれが困りもの、兄の家族が現に住んでいるところの三分の一というだけで、はっきり区分けがしていないから、具体的に建てるとなると兄の家の庭先になる可能性がある。身内争いを避けるためにもその土地を兄が買い取ってくればいいのだが、経済的にも心情的にも難しい。

遺産相続で法的にのみ分割されて、現実的に等しいという人がこれからも増えるだろう。Nさんは、

「だから何がなんでも公団の分譲を当てます。4LDKで二千七百万ほどで、民間のミニ開発に住むよりは鉄筋コンクリート造り、周囲の環境抜群、頭金百五十万円からで金利も安い。国がこういう分譲住宅をもっと沢山建設すべきですね」

一戸に對する申込みが何百倍、宝くじのような倍率を思えば、庶民の希望のかなり

よるな住宅政策がどうしても欲しい。

### 集合住宅の住みごこち

分譲住宅の方に廻ってみる。

九年前この団地が分譲されたとき、3DK(十六坪強)で四百六十五万円、3LDK(三十坪弱)が六百五十万円程度であったが、今では一千五百万円から二千四百万円という驚くべき数字で取引きされている。

需要が多く、絶えず「求む3DK・お客様は当団地を望んでいます。ご一報を」というチラシが入ってくる。

入居した内の相当数が一戸建てに移っていったのも事実だが、Kさんは、

「九十倍の中から当たったというのは奇蹟のようなものなのです。ここを売って頭金にするのは現状としては仕方ないことですが、くじ引きで運、不運が分れ、労せずして大金を得るのは不満です。

狭いことは事実で、もう一間増築できたら、どんなにいいかわかりません。管理規定が厳しくて望みはないのですが……」

と残念そう。十年もたつと子供が大きくなって、これはなかなかの悩みのようなだ。



家庭状況によっては親と同居しなければならなくなった人もある。その解決策として、Iさんは同じ団地内の広い間取りを購入して移り、もとの狭い方を両親に住んでもらった。

「両親と私達夫婦に子供、七人が一緒に住める一戸建ては高すぎて手が出ない。さりとて遠くに両親を置いて心配なので、思い切ってやってみたのですが、同居や隣り同志より少し距離があつて、しかも同じ

団地内というのは精神的にもよかつたようです」

と「スーブのさめない距離」を集合住宅内で体験している。

限られた広さの住宅を快適に住む努力もいろいろ見られたが、Hさんの部屋は民芸調というか、和服地でのパッチワークや手作りの人形、秋草の数々に埋まっている。

田舎から千本障子を探してきて間仕切りにし、古い掛時計や掛軸や衝立てのある部屋で、のんびり炬達に入っていると、地方の民家にもいるようで、とても団地の一室とは思えない。

「団地の白い壁はノイローゼになる、と聞かされ恐る恐る入居しました。それでまづ壁面を何とか埋めたいと工夫したのがはじまりです。

地方から来た私の、故郷への郷愁でしようか。お客様が——ここに居ると時間を忘れる——とおっしゃって下さるので、嬉しいです」

集合住宅も住み手によってこんなに変化がつけられると感心した。

数はかなり増えても「高・遠・狭」と不評の集合住宅も、以前より質の良い住宅が増

えつつあるが、まだ60%から70%の人が一戸建て志向だそう。集合住宅が一戸建てより劣るとの考えを改める必要も出てくるのではないだろうか。

### 武蔵野の月は……

丘を下って低地に来ると敷地三十坪ほどの住宅が密集している。ここは大手業者と住宅公団が開発し終って後、五年位前から



建ちはじめたミニ開発と呼ばれるもので、軒と軒とが重ならんばかりの建売りだ。

近くに小さな公園があって、次のように書かれてあった。

#### 『「九郎のかくれ穴」公園』

この公園の附近一帯は三沢の八幡台も程久保のくろどん（九郎どの）台との中間にあつて、下程久保台と呼ばれた高台で、古くから農家が三軒あつた。

公園のすぐ西側、畑の畦にあつた赤土の横穴には、九郎判官が奥州に逃れる途中、潜みかくれたという伝説がある。

（今はこわされてない）』

曲りくねった細い道路は畦道だったといわれてうなずける。

“この先で転回はできません”

と書かれた標識も立っている。新建材の扉をいとしそりに磨いている人、道端に出て、幼ない子に「あんよは上手」と手を差しのべている人。意外に若い母親の姿が目につく。

仕事の状況を見に来たというインテリア業者が声をかけてみた。

「私もここで教軒手がけましたが、皆さん一戸建てに引越して来られて満足してい

るのですよ。自分の家において、隣家の階段の上り下りが聞えることもあるでしょうが、何ていっても四方が自分の家の壁です。

確かに万一の時、消防自動車はどうやって入ってくるのか私も考えちゃいます。でもこの辺は「特急停車駅」というだけで、徒歩三十分であろうと、他所より二、三割も高いのです。もうこの辺で土地だけ探すなんて無理です。農家が持っていても手離すときは、全部不動産業者にですから。高尾の奥や五日市の方にいったら、まだまだありますよ」

とこちらを家探しの苦労人ときめつけてなくさめ顔で教えてくれた。

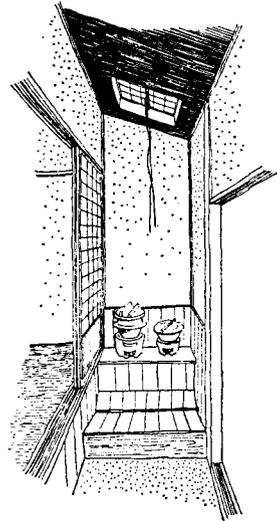
くろどんも隠れ、子規の眼にも止まった近くの三軒の農家は、今もそのまま、周囲の異常な開発を他事ごとのように、ゆつたりと畑を耕し、この日も何の採り入れか七・八人の姿があちこち動き、竿にずらりとかけられた大根に冬の日がまぶしかった。

武蔵野の月は「草より出て草に入る」と聞かされていたが、今はもはや「屋根より出て屋根に入る」の様相。往年の姿を偲ぶよすがもない。

（原田 静枝）

## ウサギ小屋の伝統

—日本人は小さな家が好き—



明治時代の長屋の台所

### 意外に狭い昔の家

戦後は住宅事情がたいそうきゅうくつになった、戦争前にはもっとゆったりしていたと一般にいられていますが、左の調査結果を見ますと、どうもそうでもないようです。

(昭和十六年秋におこなわれた厚生省の住宅調査・住宅近代史 太田博太郎編より)

一、居住室の畳数総計が、一二畳以下の住宅が全体の三分の一を占める。

一、同じく、一五畳以下の住宅が全体の半分を占める。

一、同じく、二四畳以下の住宅は、全体

の八〇%を占める。

一、同じく、三〇畳以下の住宅は、全体の九〇%を占める。

一、六〇畳以上の住宅は全体の一%しか存在しない。

居住室の畳数総計が、二四畳というところ、二〇坪くらいの住宅、三〇畳というところ、坪くらいだそうです。

この程度の広さの住宅が、当時かなり水準の高いものであったわけです。

いくつかの図を入れておきました。戦前の住宅のせまさ、こんなところに子供

の三、四人も抱えた一家が住んでいたありさまをご想像ください。

これは都市住宅ですが、では農村はどう

だったのでしょうか。

神奈川県川崎市多摩区生田に、日本民家園という野外博物館があります。

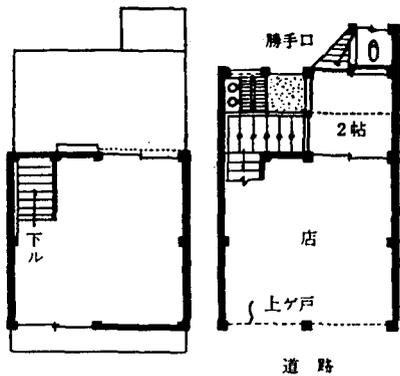
全国各地に残存していた古い民家を移築し、内部に当時の農具や生活用具などを飾りつけて、昔の人の生活を再現して見せてくれます。

多摩丘陵上のひろびろとした敷地内に、かやぶきの古民家が点在するのはほんとうに美しい眺めですが、これら重文級の家の中に入ってみますと、居住性はさまで快適ではなさそうです。

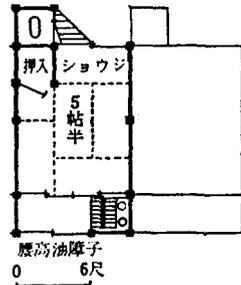
31頁下の図をごらんください。

左から順に、農家の間取の発展、つまり小から大へ(貧から富へ、でもあります)

の変化をあらわしていますが、もっとも原始的な基本型は、土間プラス居間で、その居間の一部を仕切って、押入れのような窓



明治の職人の家



明治の裏長屋

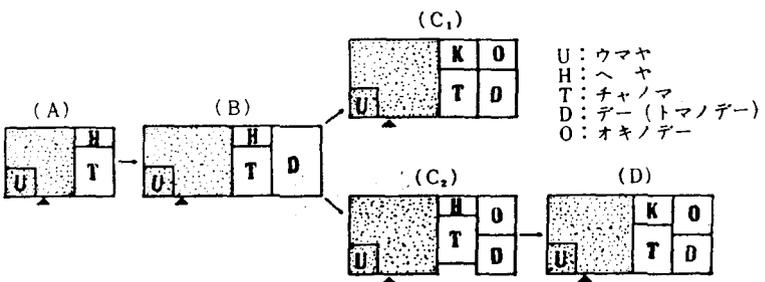
のない室を作り、寝室とするものです。居間は板敷ですから、この型には畳というものがいっさい用いられていません。それが大きくなるに従い、畳を敷いた、いわゆる座敷がいくつもくっついてくるわけですが、これらはすべて客間(行事の集会場)で、家族の居室ではないのです。家族はすべて居間に集まって暮しており、土間で作業や炊事をし、窓のない寝室で缶詰めのいわしよろしくぎゅうづめになって雑魚寝をしていました。

土間の一部には仕切りをして馬や牛を飼い、その隣を物置にして、味噌、漬物を置いているのですから、悪臭に満ちた不衛生さは、現在の人々にはとても耐えられないのではないのでしょうか。作業場としての土間を取り去れば、そのまま前記の都市住宅になり、一つの居室に家族一同寝起きをするという暮らし方は同様なのです。

民家園を囲り歩くとそれがたいへんよくわかります。何百年も風雪に耐えて残った民家ですから、りっぱな質のいい建築であって、農家といっても豪農、地主、名主などの住居が多いのですが、どれも家族の居住部分は雑居型です。

大阪府豊中市にも、同じような民家博物館がありますが、その中で奇妙な寝室を持った家を見たことがあります。

多いのですが、どれも家族の居住部分は雑居型です。



高山村の民家における平面進化の模式図

その家全体はかなり広いのですが、北側の寝室は八畳くらいの間で、十数人が寝たと説明を掲げてありました。床の面には寝きれないとみえ、棚みたいな中二階がついており、そこにも這い上って寝ていたのです。さらにユカイなのは、寝室の北側に三尺の廊下があり、板戸がしまっていました。その板戸の一部に小さなくぐり戸がついていて、解説に「夜這い口」とあったことです。

おそらくその地方は「通い婚」で、夫が夜な夜な妻のもとへ通ってくる、一種の別居結婚の習慣があったのでしようが、「夜這い口」を這い込んだ夫は、マグロのようにごろごろ寝ている家族の中で、妻を求めなければならなかったのでしょう。

なぜ、他に広い部屋があるのに一室に雑魚寝をしたのか、ふしぎに思いますが、この雑居・雑魚寝の習慣は、日本人の古い古い伝統であるのです。

### 茶室好みの国民性

話はさかのぼりますが、縄紋時代の堅穴式住居、方形と円形がありますが、どちら

も径数メートル、地面を数十センチから一メートル掘り下げ、真中に炉がついていて、それだけの一室に五、六人の家族が住んだといわれています。

農家のプランはこれの発展にすぎませんから、雑居の習慣がえんえん何千年も続いたということ、どうも日本人は一つの火を囲んで一室で暮し、一室に雑魚寝をする習慣——というより、好みを持っていたように思われます。

日本建築の粹といわれる茶室というものがあります。

はじめは武家邸宅の書院（応接、客間）に茶湯所という炉や棚のついた小室をつけ、そこで茶をたてて主客が喫しました。

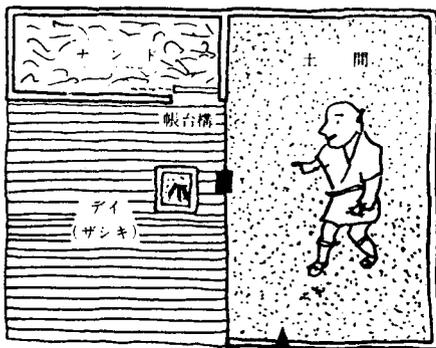
現在でもこの形式の広い茶室はあるわけですが、何といても茶室の代表は、小間と呼ばれる四帖半以下のものです。

小間は茶湯所が書院から切り離されて、独立したのが起源といわれますが、草庵風の簡素な小家屋で、民家とたいへん似通っています。

豪壮な邸宅に住む上級武士や富商が、わざわざ小っぱな室にめじろ押しになって、炉を囲んで食事をし、茶を喫する。一

味同心といって、それが意見のとりまとめに役立った（中世には茶室政治というべきものがありました）というのですから、何か日本人の心の深層に投ずる魅力があったに違いありません。

これら上流階級の人々も、かつて町家や民家の狭い空間で暮した経験を持っていて、茶室に詰め込まれることをなつかしく好ましく思ったのではないのでしょうか。



床上の寝室と居間(デイ・サシキ)が設けられた農家

雑居生活の習慣に、疑問が提出されたのは大正時代に入ってからです。

### 西洋館で雑魚寝

明治の西洋館はたいへい接客のための建物で、居住の場としてはかたわらに別に日本家屋を建てるのが例でした。

しかし大正に入りますとさすがに西洋文化が身近になってきて、椅子式で日常生活

をおくろろうというモダン・インテリが出てきました。

タタミの部屋は女中部屋だけ、というよるな家が設計され、じっさい建てられたのですが、そういう設計図を見ますと、ふしぎなことに気が付きます。

たとえば夫婦寝室の隣が子供の寝室で、間はずい壁一重（木造のパンガロー風が多い）であったり、その子供の寝室は三つぐらいベッドが入っていて、隣には机が並

んだ勉強室があったりします。

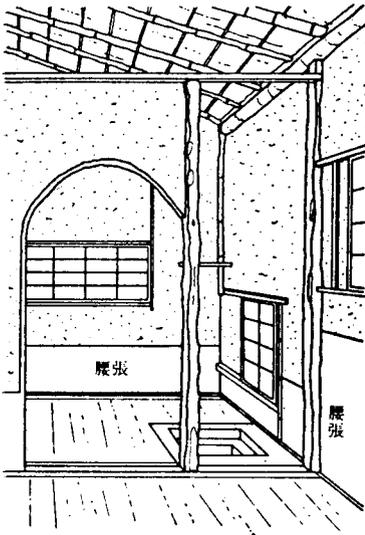
夫婦の語らいが洩れることを予想せず、子供は一つ室で勉強して一つ室で寝る。つまりあの「夜這い口」を持った雑魚寝部屋と、質的に同じ発想が見られるのです。

また、震災後はじめて鉄筋のアパートが建てられましたが、内部の間取図を見ると隔離されたのは女中部屋だけで、家族は二ないし三の畳の部屋に、雑居しているのです。

おそらくまだこの時代の人々は、中流知識人といえども、雑居生活にあまり抵抗がなかったものと思われれます。

子供に個室を与えるようになったのは、あの大戦争が終って十数年経た、高度成長期以後の現象ではないでしょうか。

今や人々は狭い家をいとい、何とかウサギ小屋暮しから脱出したがっています。その原因は日本人がいよいよ「個人」意識を持つようになったからなのか、または高度成長の結果、モノに埋まったためなのかはたしてどちらなのでしょう？



西翁院観音席

腰張がさまざまな高さに張られている。この部分は、道安囲と呼ばれており、中央の窓は有名な観音の窓である。

(和田 好子)

投稿随筆



台風を楽しむ

神奈川県川崎市

高安恵美子

台風二十号は十三年ぶりに東京を襲った大型台風といわれ、私にとっても久しぶりに外の風の強さを聞きながら読書を楽しむ一日となったが、同時に懐し

い故里の思い出を運んできてくれた。

沖繩からこちらへ移ってきて三年半、沖繩では台風は年中行事の一つである。

位置が台風の通過地点、方向を変える位置にあるため一年に多かれ少かれ二十回くらい影響を受ける。夏に沖繩を訪れる人は、まっ先に台風の洗札を受けるといっても大げさではない。だから貧しかった昔は別とし

て、現在では台風は完全に沖繩の人の生活に溶け込んでしまっている。

住宅も木造はまず見あたらない。鉄筋コンクリートの家に変ったし、アルミサッシのガラスの厚さも、こちらで使用するガラスよりずっと厚いのをとり入れている。それに山がない、大きな川がないときているから、土砂崩れ、川の氾濫の心配がない。

自分の家さえしっかりしていれば、台風とも仲良くなれるというもので、皆それぞれに台風を楽しんでいるようだ。

まず、台風が島に上陸するということがわかれば皆食糧の買い出しに走る。そして二日くらい食事を作らなくてもすむようドッサリ料理する。豚の骨と肉と野菜をとり入れた代表的な琉球料理やすき焼き、あるいはオードブルと、それぞれの家庭の料理を作り置き、主婦もその

間、たっぷり好きなことができようにする。

若い夫婦の家庭では電話で相談して、二、三組の家庭が一軒に集まり、一晩くらい一緒に夜を明かすこともよくある。ロソクを灯しながら、子供同志雑魚寝する中で、ウイスキーを飲み、外の強い風をバックグラウンドミュージックに語りあう。

若い人達は、映画館やボーリング場へと出かける。スナックももちろん大繁昌だ。いうまでもなく風速二十五メートル過ぎると学校も県庁も会社もお休みだから、子供にとっても大人にとっても台風大歓迎ということになる。

そればかりでなく、台風の少ない年はきまって雨が少なく、水道事情が悪くなり、断水を余儀なくされるといことになるから、台風を恐がっていやがっていられないという事情もある。

私の体験で、子供の頃、最大風速七五メートルという台風を味わったことがある。その頃はまだ今のように家もしっかりしたものでなく、木造でわらぶき屋根が多かったため、被害は大きかった。

大人達が嵐の中で家の戸板をあちらこちらくぎで打ちつけ必死に家を守るのだが、それでも強い風はようしやなく壁をはがし、屋根をもぎとりもっていく。私達兄弟、祖母は残骸だけとなった家の奥へと追いやられ、ついに畳一枚の広さに一家七名が、よりそって坐っていた。

ポツカリ穴のあいた屋根からたたきつける雨と風、このまま家には危いから親類の家に避難しようということになったが、すっかりお腹のすいた私は水びたしの台所をながめ、何とか食べるものはないかと探しまわったことを思い出す。

弟達は毛布でくるまれ大人の

背におぶさわれ、私は母に肩を抱かれよるける足でようやく夜の明ける外へ出た。必死に歩きながら毛布でスッポリおおわれ、目の部分だけ出し、わずかの間から外の様子をうかがった。

「ああこの家のみかんの実はみんな落ちていて、風がやむとまっ先に拾いに行こ、ああこれも」とうれしくなった。私達一家の他にも避難していく家族に何組か出あったが、そのうちの一人が電流の流れている電線にふれて感電死したということであとで聞かされた。十歳くらい頃の話である。

子供の私には、あとでみかんが拾える楽しさがあって決してつらいことではなかったが、さぞかし大人達は台風のたびに大変な苦勞をしたことであろう。さらに昔は、やせた土地を細々と耕し、イモを作り、野菜を作る。やっとなってきたと思つたら根こそぎ台風でもっていかれ

る。誰を恨むこともできない、ただ空を見上げまたまた土に向い耕し、傾いた家をなおし壊れた小屋をなおす。最初からやりなおしだ、グチつてみたって、おこつてみたって、どうにもならないことは彼等が一番よく知っている。ただ風の去つたあとまぶしい太陽の下であとかたづけをし、土を耕した。黙々と男も女も。

だから何をおいても家だけは頑丈に作つた。キラキラ照りつける太陽に映える赤瓦の屋根もしっくい塗りで塗り固め、それがなお、赤と白のコントラストで南国の青空に鮮明な色どりを添える。垣根も石を積み上げる、木は根の張る、葉の大きい木を屋敷のまわりに植える。

気候が暖かいということは人に、不幸を早く忘れさせ、大らかにさせてくれる、やがて人々は島の悪条件と仲良くなるすべを身につけた。

島から出ることは困難だった幾多の苦い歴史も思い出も、今では島で楽しく暮らすコツに変えてしまった共同体の生活意識である。

今、私も台風情報で沖縄がテレビに写るのを見られるのが楽しい。

### 僕が犬語を

### 話せるわけ

東京都新宿区

国 吉 健

僕がまだ若くて、今はいもうすつかり喪つてしまった初々しさを十分に持ち合わせていた頃、我が家に一匹の犬がやって来ました。この犬は、「コッカ・スパニエル」で、何と「アトム・オブ・モギ号」という立派な血統書名を持つ名犬らしいのです。我が家では、「彼」の通称を命名するにあたって家族会議を

開いて知恵を出し合った結果、「ダンディ」と名付けることにしました。名付け親は、この僕でした。

「彼」を「ダンディ」と名付けたのは、ちゃんとした理由があって、それは生まれて僅か三カ月たらずで見ず知らずの家に里子に出されて、人間サマには思い及ばぬ淋しさを味わっているはずの「彼」に（ご近所の駄犬になんか絶対に敗けるなよ）と誰にも劣らないくらい「伊達男」になってほしいと思っただけでした。

「彼」がこの「ダンディ」という名前を気に入ったかどうか確認する術はありませんでしたが、当の「ダンディ」はその名に恥じて、実際の生活ぶりといったら筆舌に尽し難い「駄犬ぶり」をものに見事に演じてくれたのです。家犬で、僕達家族とすこしも変らない生活をしていたのに、妙にオドオドしていて

夜になると、僕が寝ているフトンの傍にやって来ては「寒くてたまらないんだけれど、ちょっと中に入れてくれない？」とジツと僕の目をのぞき込んだり、「オシッコは、ここがトイレだよ」とちゃんと教えておいたのに、ハタの目が気になるのか、人前では健気にも我慢して、そのうちにどこかへ（というより、あたりかまわず）おモラシをして憚らないのです。そして昼寝の時は僕が膝に抱いて子守唄（犬守唄？）のひとつも歌ってやらないと、いつまでも人の目をのぞき込んで決して眠ろうとしないくせに、いざ食事時となって台所からいい臭いが漂って来ると、それまでは、ぼんやりと物想いに沈んで縁側から庭をぼんやりながめていた瞳を一転台所に向けて、お愛想笑いい（哭き？）をするという要領のいい実に世慣れたところもあったのです。

一人っ子だった僕は、学校から帰ると何をおいても「彼」に「ただいま」の「わん／＼」で挨拶して、一緒におヤツを食べ、「お前の方が多いゾ」といつては「わん／＼」、「散歩に行こうか」で「わん／＼」もう帰るぞ」で「わん／＼」……僕は、誰よりも愛していたこの最良の友であり、弟でもある、「ダンディ」と「わん、わん」言いあって子供時代をすごしたのです。

でも、彼の蜜月は、二年ほどしか続きませんでした。というのも、犬の成長というのは、人間サマの成長のスピードより数倍も早く、二年もたつと彼は精神年令では（もちろん肉体年令でも）僕をアツという間に追い越して、こちらが最大級の愛情をこめてあの挨拶「わん／＼」を贈っても「ウーッ／＼」と歯を剥き出すか、さも無い時は、（これが僕の自尊心を最も傷つけたことだけれど）「オマエバ

カ？」てな顔をして悲しそうな大きな黒目がちの目で僕を見詰めるといった対応を示しはじめました。

こうなると、僕はもう「わん／＼」という気力をすっかり失って「キャン／＼」と叫んで自分の部屋に籠ってしまおうか、逆に強く出るためには、彼の長い耳を両手で思いっきり引っぱって、（何故「耳」かという、コッカ・スパニエルという犬は、もともと猟犬で、猟場を走るのに邪魔になる長いシッポは、生まれて間もなく獣医さんに頼んでちょん切ってもらったので、踏んずけるわけにはいかないのです）肉体的な苦痛を味あわせて「キャン／＼」といわせるしかなかったのです。

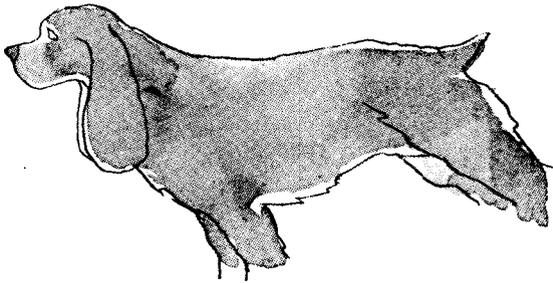
その後彼は、ジステンパーを患って、「九十九パーセント死にます」と獣医さんから宣告されて家族一同を悲しませたり、見境もなく自分より十倍も大き

な、これも正真正銘血統書つき（らしい）秋田犬に決闘を挑んで、ものの見事に一撃でノックアウトされて、またまた獣医さんに急患の往診をお願いするというハメになるくらい、何度も死線をさまよったりしながら、それでも逞しく生きたのです。

逞しく生きていく「ダンディ」に対して僕の方は、中学三年生のころから、「ダンディ」とは、「おやすみ」と「おはよう」の「わん／＼」でお互いの存在を確認するくらいになってしまいました。僕の立場から考えれば、あの「ダンディ」の顔を見てすこすよりは、人間の女の子（変な言い方ですが）と甘い言葉で語り合いながら、お互いを見詰めあっている方が、より人間的なことと思う年ごろですから、こうした心変わりも仕方ないことです。

あたりまえのことながら、一年たつごとに「ダンディ」は、

どんどん年寄りになりました。そして、僕の方もこれもあたりまえのことで、どんどん年をと



っていきました。

あれは多分、僕が二十八歳になった時だったと思います。彼

はもう十八歳になり、人間なら百歳を超えていましたが、それでも人をバカにする能力は老いて益々盛んでした。

そして、「事件」は、一月三日、彼の十九回目の誕生日におきました。

僕はどういうわけか、一年に一回しか風邪をひかないんで、それも必ずお正月に風邪と仲良くおつき合いをするのです。

さて、その年は、大変まずいことに、しばらく御無沙汰していた「彼」に、「誕生日おめでとう／＼」の「わん／＼」を言ったのです。そして、それでやめておけばよかったのです。僕はサービスピスを発揮して、熱烈祝福のキスの嵐をプレゼントしてしまったのです。それも、悪質のインフルエンザに罹っているというのに——。

二日たつて、案の定、彼はインフルエンザに罹りました。熱はもちろん、咳もくしゃみも鼻

水も人間並みです。しかも、もう若くはありません。それからの彼は、寝たり起きたりの生活で、はた目にもどんどん弱っていくのがわかるのでした。

その年の夏、僕は会社社に休暇をもらって一週間、一人旅に出ました。一週間後、ささやかなお土産を持って旅から帰った僕を、みんなが悲しそうな顔で迎えました。いつもなら、すっかりつき合いが薄らいでいても真先に飛び出して来ることだけは忘れなかった彼「ダンディ」の姿はありませんでした。

「ダンディ」が死にました。僕は、悲しくて「わん／＼」とちいさな声で泣きました。

九月の十日のことでした。これが「僕が犬語を話せるわけ」です。それから僕は、淋しそうにしているノラ犬を見つけると、何をしても「わん／＼」と挨拶して通りすぎることにしているのです。

## 女の熱気がテレビを変える(Ⅱ)

—ブラウン管の裏側から—



### 富 永 孝 子

二十四年間、電波の世界に関わりつづけながら、一度も「現場」や「表」に立ったことのない私が、スペシャル番組のCM制作という、最もビビッドな仕事を引き受ける決意をした理由は五つある。

第一は、原作者沖藤典子氏の、抑えた筆致の行間からふき出してくる「女の叫び」に、もうすでに消えかかった「私の叫び」が、再び沸き上ってきたからである。

第二は、男の観念で「女はムード」とひとくくりにくぎつけ、作られてきた従来のCM制作態度を、これを契機に破り、「女も主張」が必要なことを、実践してみたかったこと。

第三は、スポンサーである西武流通グループの持つ企業イメージが、好感の持てるものであり「この番組を提供すること自体がCMである」という制作立脚点と共通の基盤にあると確信できたからである。その上、出演を依頼する第一線の女性の方たちに、スポンサーの制作費から応分の謝礼ができる見通しがついたこと。

テレビ界の相場では、作家・評論家・学者などいわゆる「文化人」に意見を聞く場合は、一時間の拘束で二万円前後の謝礼しか出さない。ところが、人気タレントなら一時間ドラマで百万円以上である。このバカげた出演ランクがまかり通っているのは、テレビが、かつての映画界のスター・システムを踏襲し、高視聴率を得るためには、芸は二の次でも、人気第一でスターをチャホヤし、争ってその出演料を釣り上げた結果である。



今回はその点、CMランクという別基準の謝礼が用意できた。出演者方からは「まちがいではないか」と感謝されたが、私はこのランクが当然テレビランクとして通用すべきだと思う。

余談ながら「企業秘」とされているこのテレビ出演料を一斉公開したならば、視聴者はその不公平に啞然とするに違いない。ここにもテレビ企業の前時代の体質が残っており、それがテレビを毒しているのだ。

第四に、ディレクターが、かつてテレビ朝日の「名作劇場」を育て上げた尊敬する先輩、河野宏・名ディレクターであったこと。

第五に、この種の一流人を多数一堂に集めることを成功させるには、最初に最適任の人物を決定しておくことが必要なのだが、それには、澤地久枝氏が、ムリを聞いて下さるであろうと推測できたことである。

さて、第一線で活躍する女性の人選については、ドラマとの関連を考え、五十数名の候補者の中から、著名な母親を各界からピックアップ、その中に役職経験者を加えることにした。

最終的に十一名を決定するまでには、西武側の意向も受け入れたが、ほぼこちらの選んだ線が通った。テレビキャスター木元教子、羽仁進の長女・未央、オペラ歌手・島田佑子、商品科学研究所長・三枝佐枝子、カネボウ化粧品取締役・古島町子、内科医師・村崎芙蓉子、歌手・加藤登紀

子、読売新聞婦人部長・金森トシエ、評論家・五代利生子、NHK奥さんごいっしょに・リポーター・柴田頼子、ノンフィクションライター・澤地久枝（発言順）の各氏。

聞き手には、男性スタッフからは男性候補者が挙げられたが、私は反対した。男性には原作者の「叫び」は観念でしか理解できない。原作者が裸になって世に問うた作品だから、出演者にも本音で語ってもらわねばならない。本音を引き出すには同じ体験を持ち、相手のふところにもぐりこみ、その素顔を浮き彫りにできる力量を持つ女性——テレビ朝日「六時のサティライト」キャスター・藤久ミネ氏と、フリーライター柿沼美幸氏を選び、ふたりの個性と、相手の個性を組み合わせ、その個性のからみあいから出る妙味を狙うことを提案した。

さらに、原作に登場することも同世代の子どもを起用、こどもの目から、働く母親を持った家庭をどう見るかの発言を聞きたいと申し出た。この二つの案は快く受け容れられたが、知名度のある人のこどもは親が躊躇したり、学校の許可がおりなかったり、病気だったりして、こどもの人選が難航した。結局、軽井沢からかけつけてくれた羽仁未央さんひとりになったのは残念だった。

ところで、私の主な仕事はテレビ朝日が多く、そこではその肩書きが通用する。しかし今回の仕事は誕生間もないP・D・Sというプロダクションからの依頼であり、放送はフジテレビ系列である。私の肩書きはフリーの無名ブラ

ンナーでしかない。そうなるとはたして出演者たちはどこまで私を信用して下さるか……私という人間と、その熱意で当って砕けよう——。

私はまず、ムリを承知で澤地氏に協力をお願いした。文春の「昭和史のおんな」をメインに引っぱり風の彼女は、体力の限界にありながらも「あなたがそこまでやっているのに、断れないワ」と引き受けて下さった。彼女が、NHKとテレビ朝日以外の民放には、出演を断ってこられた事情を知っているだけに、心苦しくはあったが、うれしかった。

官公庁関係のものしか手がけられない五代利矢子氏とはかつて私が総理府提供の老人番組「あしたば」を構成した時、彼女に司会役をおねがいして以来、五年の空白がある。電話で打ち合わせをするまでに漕ぎつけ、「でも、私は沖藤さんの生き方に全面的には賛成でないの」と言われる彼女を「それも大切な意見のひとつ」と、ムリヤリ口説き落した。

NHK・「奥さんごいっしょに」のリポーターとして活躍中の柴田頼子氏には、以前から私は関心があった。ためらいがちながら聞き出すべきことは確実にリポートする彼女の知性と豊かな人柄の裏には、働く女のずっしりした過去があるに違いないと思われた。はたしてその「勘」は当たっていた。「あなたがそこまで見通して下さっていたなら」と、彼女はNHK上層部の許可もとりつけ、その肩書きを

冠した上で、一社提供のCMタイムに前代未聞の初出演となった。「主旨がしっかりしているから」と、NHKでは許可され、スタッフは「私たちの番組のイメージを挙げるようがんばって」と励まされたという。

「サンデー毎日」の連載文を読み、何かのチャンスにこの方をと、心にとめておいた村崎芙蓉子医師は、実にチャーミングな美人で、この人に脈をとられる男性患者の動悸が聞えるようだった。彼女の抽出にあったご子息の写真から、同年のこどもを持つ母親同志の会話が発展、即座に旧知の間柄のように打ちとけて「OK」。

木元教子氏宅に電話した時のことである。若い男性の声だが受け答えが専門的。先頃、「母親への公開状」という本を出されたご長男にしては、見事な秘書ぶりと、舌を捲きながら交渉を続けた。すると「いい着想ですネ。ボクもテレビの営業にいたので……」「あの、ご主人さままで……」二十四年前、木元氏は当時アルバイトをしていた私と同じ職場に在った。妻教子氏がアナウンサーから、次々に自分の壁を打ち破り、行動力のあるキャスターとして大成されるのを、よそながら拝見、あの夫君なら、温く励まし続けられたであろうことが容易に推察できた。

本当に力のある男性は、妻の成長に力を貸す余力とやさしさがある。いい仕事をしている女性のつれあいには、そんな男性が多い。打ち合わせの時、それを指摘した私に、彼女はあの人なつこい笑顔で「私もそう思う。幸せよ」と。秒刻みに忙しい彼女だが、原作を読んだ直後に、沖藤氏に



長文の励ましの手紙を出すほど、私同様、この作品に入れこんでおられた。

カネボウ化粧品品の古島重役に出演交渉をする際、交換台に当方の意図を説明し、しかるべき所に電話を繋いでほしいと頼んだ。すると、瞬間交換手の声が「公」から「私」に変った。「エッ! あの本がドラマになるんですか。うれしいワ!」 職場でみんなで読み、感動したんです。主任と代わります」声から察して年配らしい主任の方の挨拶ぶりも見事だった。彼女も「当社は三分の一が女性です。みんなんで応援します。どうぞすばらしい番組にして下さい」と言って、広報課に繋いで下さった。大野主任は出演協力はもとより、この企画に非常に興味を示された上、放送当日には、ぜひ番組を見るよう社内放送までして下さいのだ。一面識もない一企業の、この予期せぬ熱い反応に、私は胸がいっぱいになった。

典型的な男性社会であった読売新聞社内、初の婦人部長となられた金森トシエ氏も、NHKでの発言やその著書から、一度折を見て……とねがっていた方。一女を嫁がせ「誰にも言っていないけど、もうすぐ私、おばあちゃんになるの」とにっこり。「働く女の人たちのために、お役に立つなら」と、即座に承知して下さいました。私は彼女の豊富な知識と、思いやりある心遣いに、こんな上司の下で仕事をしてみたいかと、しみじみ思った。

新潟の公演から妊娠中の身を、強行軍でスタジオにかける約束をして下さった加藤登紀子氏。「仕事の内容は

違っても、働く女の苦勞ってまったく同じなのねえ。この本を読んで、はじめて知ったから、なんとか時間を空けます」とわんぱくざかりの双生児のママ島田佑子氏。そして客観的に的確に働く女の状況を示唆して下さいました三枝佐枝子氏。

肌を感じた働く女たちの熱気と力——。それは今まで認められることもなく、じっと耐え、秘かに貯え続けられたものだ。それがやっとここで発酵し、はじめてその真価を問う場を与えられたのだ。その思いが、この女性たちの胸の底からたぎり上ってきたのだ。「これをそのまま、あの画面に浮き出させたい!」十一名のOKをとり、発言内容の下打ち合わせをすませ、二日間の録画日に各人のスケジュールに合わせながらはめこむ努力が終ると、私の思いはただそれだけだった。

そしていよいよ当日、それが見事に実ったのである。

(次号完結)

### お詫びと訂正

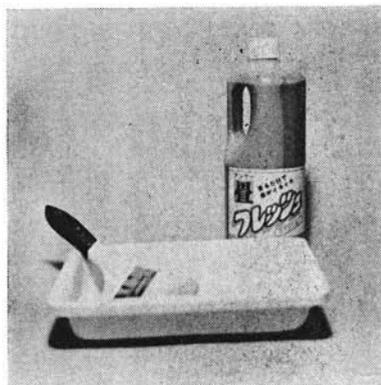
百六十一号第一回掲載分、四十一頁八行目 電話料→電波料。同頁十一行目 三千七百万円→三億七千万円。五千二百万円→五億二千万円です。以上お詫びし訂正いたします。

編集部

# よみがえるイグサの香り

畳に直接塗るだけ  
青さ一段とさえる

## 畳フレッシュ



1ℓ入り12畳用 7800円

日本人の生活様式がますます洋風化する一方、古くから受け継がれてきた伝統、習慣が改めて見直されて来ました。例えば畳。旅先から帰ったときなど、畳の上で思いつ切り手足を伸ばし、青々としたイグサの香りをかいたときの感触は日本人ならではのものです。けれども、日焼けして茶色く変色してしまつた畳では……

そこでご紹介したいのが「畳フレッシュ」です。

「畳フレッシュ」は、信越化学、積水化学、日本アクリルなど一流企業の開発研究により生まれた新製品。畳に直接塗るだけで、畳の

持つ特性をそのまま生かし、茶色く変色した畳を美しく再生し、フレッシュなイグサの香りをよみがえらせます。

### ●使用方法はとても簡単！

畳の汚れをよくふき取り、次に「畳フレッシュ」の溶液をよく振り、使用する畳だけ容器に移し、そのままハケで畳に均一に塗るだけ。約30分後には畳の青さが一段とさえ、新しい畳のように生まれ変わります。

●1ℓで平均十二畳も塗れ、畳屋さんの表替え料金（一疊三千円～四千元）に比べてぐんと経済的です。

●化学品検査協会の安全試験で毒性が一切ないことが実証されています。従って小さな子どもさんが畳の上に落ちた物を拾って口にしたとしても全く心配はありません。

省資源、省力化の時代に、大切な住まいの維持、管理費の軽減化に利用なさってみてはいかがでしょう。アパート、マンション等を経営されている方など、商業用としても期待される新商品です。

- 「畳フレッシュ」を扱っている「あをば」では通信販売をしています
- 【申し込み先】 千150 東京都渋谷区恵比寿4-4-8 第一伊藤ビル3階(株)「あをば」  
「畳フレッシュ」係り、TEL 03 (449) 7084へ
- 【商品の発送】 商品は申し込みを受けてから約一週間以内にお届けします。送料無料。
- 【支払い方法】 商品到着後、同封の郵便振替用紙でお支払いください。商品を返品する場合は到着後一週間以内をお願いします。

## ●近代文学館へ

## 行ってみよう

井の頭線なら駒場東大前下車徒歩十分、小田急線なら東北沢下車同じく徒歩十分、駒場公園の中に、博物館と図書館の二棟に分れてあるのが「日本近代文学館」です。

駒場公園はもと前田侯爵邸の庭園で、博物館は邸宅の洋館をそのまま利用しています。レンガタイル張りの壁に、おおおとおと蕨のからんだ古風な洋館は、内部のぞいを見した装飾とともに、それだけでも楽しく鑑賞できますし、公園は桜のころにはお花見もよし、子供がかけ回れる広い芝生もありますので、コブつきの不自由な主婦も一度お弁当持ちでいかがでしょう。

お茶が欲しければ持っていく必要がありますが、入口にジュースの自動販売機、公園には水飲み場があり、図書館にはわりとよく休むけど喫茶室があって、コーヒー、紅茶、サンドイッチくらいはできます。

博物館の後は前田邸の和館で、こちらが侯爵の日常のお住居、洋館のほうは宴会や舞踏会等、接客のために使われていたのです。和館は加賀百万石の殿様のお住居ですから、本格書院造りの豪華なもの、その階下の大広間が、無料休憩所として開放されています。

数えてみたら三十八畳半の広間に、二間の床ノ間付、一間半の広縁をめぐらしています。子供はきつと、こんな広い家ってあったの、と叫ぶに違いありません。

博物館のトイレは中に暖爐がついてるというたいしたものですが、和館のトイレも棧をうるし塗りにした舞良戸など美しく、一見の価値あり。

広縁に坐ればすばらしい日本庭園が鑑賞できます。まほうびん詰めのお茶に上等の和菓子でも持って行って、ゆっくり拝見しましょう。

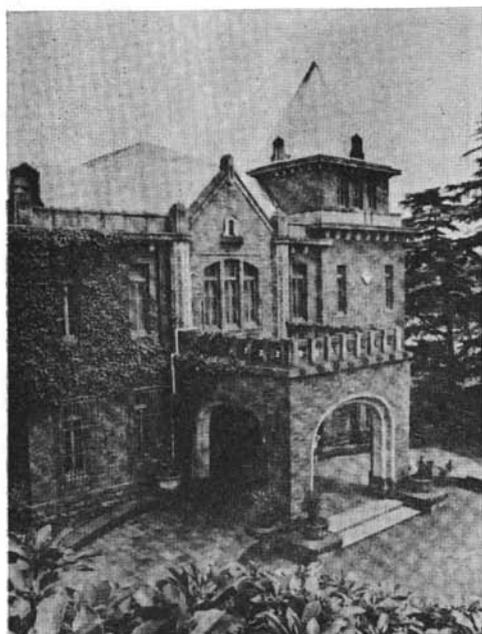
サテ子供を公園で遊ばせといて、ちょっと博物館をのぞいてみましょう。

明治以来の文学作品の初版本や、雑誌の創刊号、作家の原稿書簡等、文学資料のかずかずが展示されています。志賀直哉と

武者小路実篤が、ケンカしてらるしきやりのハガキとか、わりと下手な字の吉屋信子の原稿とか、いろいろ楽しい。

図書館は和館の左手にあり、これは現代的な新しい建物で、書籍のみならず原稿・書簡・日記等、あらゆる文学資料を収集保存して閲覧させています。閲覧は十八歳以上、百五十円で閲覧券をくれ、手荷物はロッカーに預かるなど、なかなかやかましいですが、貴重な資料を貸すのですから当然のことでしょう。

休館日：博物館は月・祭、図書館は月・祭、月末日



目黒区駒場4-3-55 (466) 5150・5159

# こどもの事故

さまざま

——「お母さん気をつけて」  
だけでは防げない——

## ■わかっていても起こる事故

今日もどこかの赤ちゃんがポットのお湯やアイロンでやけどし、薬や化粧品を飲みこんでいるにちがいありません。刃物でケガしてる子もいるでしょう。

身近にこんな事故があった、あわや事故になるところだったという事例が六十八寄せられました。そのうち約三分の一がこの種の耳なれた事故なのです。育児書や婦人雑誌でくり返し警告されても、いっこうに

なくならないようです。調査のまとめに参加したメンバーも、うちじゃこのあいだシャンプー飲んじゃった、はさみで足を突いた、と残らず経験者でした。

このたぐいの事故をなくすにはどうしたらいいのでしょうか。

「まず、生活を簡素にすること。お化粧品に素顔でいるといいのね」

「強力洗剤なんか使わないで石鹸一本やりがいい。タイルの目地が黒ずんでも気にしない」

「ポットは使わないで、出さないですむ

客にはお茶を省略。必要なときだけやかんでわかすことにして」

「風邪ぐらいで薬を買わず、温かいもの食べてふとんに入っちゃう」

「アイロンは一切やめ、彼のハンカチにアイロンかける必要なんかない！」

だんだん事故対策かぐうたら同士の意気投合かわからなくなってきました。

近所のウサギに指をかまれた、バラのトゲや松葉で目を刺したという例には、こんなものが危ないのかと驚いてしまいます。



わいふの調査から

## ■便利さが生む危険

背の高い食卓イスからの転落事故は、昼で生活していた頃にはなかったものです。生活様式が変化し、便利な商品が売りこまれると、新しい事故の原因も家に入りこんできます。

▽クリーンヒーターの後に付いている小型の扇風機で二歳児が指にケガをした。ストーブと違ってやけどしないから大丈夫だと思っていたら、別の危険がひそんでいたというわけです。

新型のガスコンロが押し返し式でなく、

軽く回せばつくようになっていたので、いつ子供が火をつけるか危なくなてしかたがない。押すだけのポットは一歳児でもロックが外せるので箱にしまいこんだ、と便利さの追求がかえって乳幼児の危険を高めていることを告発する声がありました。

さわると止まる扇風機を買った家の赤ちゃん、扇風機はさわれば止まると面白がって、別の機種にもわざわざ手を出すでしよう。

小細工じみた安全装置を考案したメーカーは、そのことを想像してみたことがある

「わいふ」155号で、子どもの事故の体験のレポートをおよせください、と呼びかけてから、ずいぶん長い期間お待ちせしてしまいました。

呼びかけのあと、すぐに体験レポートをお寄せ下さった方が、約十数名。そのあと、ポツポツと送って下さった方が、これも十名ほど。

いずれも切実なものばかりでしたが、数としてこれだけでは余りにも少なすぎるので、手分けして具体例を集めたりしているうちに、大分日数が経ってしまいました。

それでも、事例集めに協力して下さった柏サークルの四方さん、レポートまとめを引受けて下さった鈴木由美子さんはじめ、読者、投稿者の皆さんの協力のおかげで、充実した報告をまとめることができましたのをお心から有難く思っています。「わいふ」は、本当に皆の力で作り上げる雑誌とうござい思いをあらたにするのはこんな時です。ご協力有難うございました。

のでしょうか。

## ■盲点がいっぱい

事故、あるいは事故寸前の一瞬、子どもから目を離していた理由は、まず物干しや洗い物、そして電話や来客、別の子の世話、テレビにおしゃべり、お勘定を支払う間、と並んでいました。

家事の手順の隙間が危いのです。

▽物干しに出ているとき、洗濯機のホースを風呂場の中に垂らしてカギが開いていたため、一歳児が入って洗剤を飲みこんだ。

▽ふとんを干す間フェンスをはずしていたら、一歳児が階段を転落。

ふだんと違う環境に子どもを連れ出したときは要注意。

▽マンションのモデルルームを見学中、二歳児がイスに登ってイスごと倒れ、左腕を複雑骨折。

▽喫茶店でレジ前にいるとき、洗面器をのせたストーブに一歳児がぶつかりかけた。

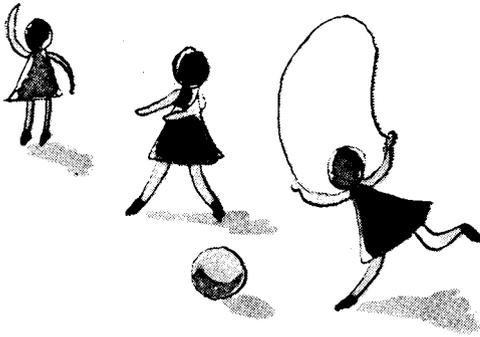
そばの人が捕えてくれて無事。

実家へ帰ると、育児で疲れぎみの母親はホッと一息ついてしまうのですが……。

▽実家で母親がテレビを見ている間に、一歳児が自宅とは違う型のポットをいじってやけど。

▽コップのふちに歯をあててくせのある二歳児が、実家で薄手のガラスコップをかみ割って口にケガ。その後実家にもプラスチックコップをそろえた。

また、子どもの能力は突然発達します。きのうできなかったことを今日はやってくるのです。



▽一歳でまだねじぶたは開けられないと思っていたのに、ビタミン剤を十数粒かみくだいていた。もしこれが抗生物質だったら……。

▽園芸ばさみのサックについている大きな固いスナップを、二歳近い子がはずした。持ち歩いてにもにふれケガ。知恵のついてきた子は、とんでもない遊びを考え出します。

▽二歳の娘が鉛筆削りに人形の手を入れて削っていた。もう少しで自分の指も削って一五五号の西田さんのマンガみたいになるところ。  
▽「お二階でお利口に遊ぶから来ないで」と言って三歳の息子が上っていったあと、外からその子のすごい泣き声。ウルトラマンのまねして二階から飛び降りていた。奇跡的に無傷。

### ■マンションこわい

公団やマンションのような高層集合住宅は、子どもたちに独特の危険を提供します。▽マンションに遊びに来た六歳の子が、走って大きな素通しガラスをつき抜け、

手足や顔に無数のかすり傷。

▽同じ団地内のお宅を訪問したとき、玄関のドアがボタンとしまり、スカートにくっついてきた三歳児の指先がつぶれた。

▽ベランダに出ていたら三歳の娘がサツシのカギをかけてしまった。三階だったので通りかかった人に管理人室へ行ってもらう。

幼児でもかけられるカギというのは困りものです。これがもし十階だったら、室内で火を使っていたら？

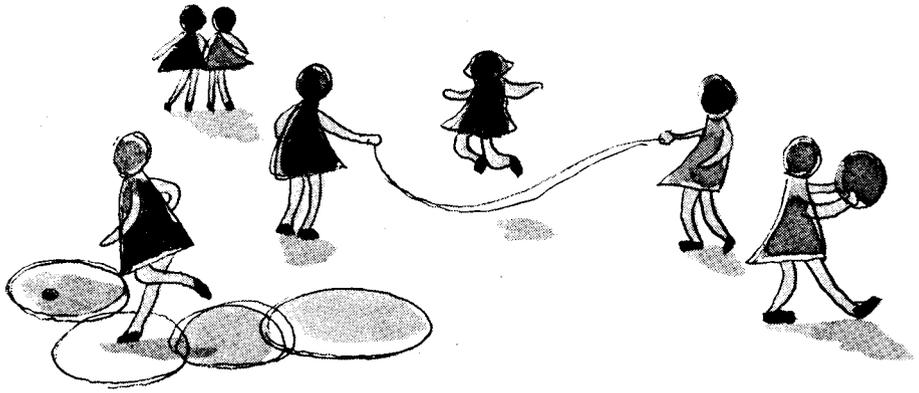
二歳児がトイレのかぎを内側からロックしたとき、一階建てなので外から開け方を教えて脱出という例がありました。

これも高層住宅だったら、どう解決すればいいのでしょうか。

高層住宅では外への転落事故は致命的な結果を生みます。それなのに、設計段階から初歩的なミスがあったりするので。

▽外側に面した通路のフェンスのすきまが子どもが楽に通じ抜けられる広さ。いつもハラハラしている。

そして、子ども同士のつきあいに親がギョツとした例。



▽七階に住んでいる。五歳の息子と同年の友達はずぐ下の六階。その子がオモチャを持ってベランダから「ちょっとこれ見て」と呼んだので、息子がベランダのさくの上の方に登り身を乗りだす。見つけて引きずりおろした。空中での幼児交歓風景。ゾッとします。

### ■偶然に支えられる無事故

アンケートに答えて下さった人々のあいだに、共通したひとつの思いが感じられました。子どもが無事なのは、決して母親の自分が立派だからではないという意識です。

四方愛子さんの「乳幼児の事故と母親」(一五五号)の「母親たちは毎日毎日教かざりない『不注意』の中で子育てをやっているのだ。不運は多くの『不注意』の中のある一つを突然おそうのである。大きな事故もなく、無事に子育ての時をのり切れたという人は、賢く注意深い母親だったというより幸運な母親だったというべきである」との一節には、何人かが深い共感を寄せていました。

母親たちは、家事をこなし、電話や来客に応待しなければならぬし、お手洗いにいる時間もありません。もしかしたらという不安を胸の底にいだきながら、一日に何度も子どもを置き去りにせざるを得ません。

事故があった場合、母親がそのとき電話でおしゃべりしていたため、と母である人の失策に原因を求めて済まされがちです。なかには母ザルは命にかえても子を守りぬくとか、カンガルूはお腹の袋に赤ん坊をシッカリ入れているだとか、せめて動物なみのことはしなさいと母親族を啓蒙してくださる人さえいます。

しかし、動物でなく人間の社会だからこそつくり出されている危険のほうが、ずっと多いはずなのです。おサルさんがストーブ使用かなあ、電話のベルに呼び出されるかなあとおぶやきながら、次へ進みましよう。

### ■手抜き行政の町で

▽四歳児が自転車に乗ったまま傾斜地をすべりおりて沼にズブズブと入っていった。

た。居合わせた大人が救出。

▽幅も深さも一・五メートルくらい、排水溝にフタがなく、細い横桟の上で平均台ごっこができる。幼稚園児が二、三歳児にハッパをかけてここを渡らせるのはやめた。市役所に電話したら、「この市には自然状態のミゾがいっぱいあります。コンクリートになっているだけでもめぐまれているほうです」と一蹴された。

この二例は、農地であったところに急速に宅地化が進んでいるのに、行政がそれに対応できていない市でのことです。こんな町では、母親はそれこそ必死で子どもを守っていなければならないのですが、母親の責任だけに視野を限ってしまうと、遅れた行政を放置することにつながっていきま

す。

こんなケースがあります。  
▽幼稚園でしつけの勉強会が行なわれている間、母親を待つ園児たちが園庭で遊んでいた。女の子がコンクリートの足洗い場で転び、頭に裂傷。

この事故が起こった瞬間、園庭にいた先

生が勉強会の席にかけこみ、「○○ちゃんがケガしました！」と知らせました。すると母親が立ち上がり、叫んだのです。

「パパに叱られる！」

説明するまでもなく、パパとは自分の夫のことです。もちろんこの人も数秒後には子どものところへ走って行ったことでしょう。だけど一番先に心に浮かんだことは、自分の失策として追及されることへの困惑でした。

この話をしてくださった人は、さらにもう言います。

「その場に居合わせものだから、どうしても忘れられないんです。女にとってしゃせん子どもは男からの預かりものなんですね」

子どもが無事であることが女の存在価値を支えているということなのでしょう。

母親さえちゃんと見ていれば、とくり返し強調する社会は、自分の生活を持っている女性に心理的圧迫を加えずにおきませ

ん。  
▽ソファアの背とクッションの間に入りこんでいた一本の箸を取り出して二歳児が遊び、目を突く。白眼のところだった

ので失明はまぬかれた。

この子の母親であるひとは、自宅で料理教室を開いています。自分が仕事しているために子どもに目が届かなかったのかと苦しみました。さいわい夫が判断力のある人で「つききりてみていたからといって事故が防げるものではない」と助言してくれたそうです。

### ■もう一人のヒト

よく考えてみたら、大部分の家庭にはもう一人親がいるはずでした。この人物を無視してはいけません。

こんな場面を想像してみます。ゴルフから帰宅した男性が、風呂だ着替えた飲物だと妻に次々に用を言いつけながら、とんがったカラフルなティーをばらばらとカーベットのの上に置き、カントリークラブの名が入った大きなポリ袋をそのへんに放り投げると、そこへ赤ん坊がはいはいしてくるとしたら、危いことこの上なしです。

父親が、危険をつくり出す人物であるのか、それとも小さな弱い存在を守る人物なのか、プラスマイナスの差は大変なものに

なりません。

男と女が、社会生活も家庭生活も同じようにわかちあう理想はさておき、会社でさんさんきを使われている男性でもできることを考えてみましょう。

1 自分の身のまわりのことはできるだけ自分でして、いちいち妻を呼びつけないこと。

2 家の中の約束事——高いところに置くべきものは何か、どのドアは開けばなしにしてはいけないか等々をしっかりと覚えて守ること。

3 こころまではごく初歩的なことです。そして、妻が一人で外出している間、子どもをみている能力を持つこと。

子どもが生まれてから何年もの間、一度もパーマをかけたことがないという人はめずらしくありません。夫には、子どもをほんの二、三時間みているだけの力がないのだそうです。同居人がこれでは、母親は緊張の連続です。

子連れでは無理な場所に用事のあるとき、あるいは自分の時間を持ちたいとき、替わって子どもをみているぐらいのことは

「もう一人のヒト」に要求してもいいのではないでしょう。自分にヤキトリで一杯飲む時間が必要ならば、妻にも音楽喫茶でのんびりコーヒーをすするときが、いるのだ、と想像できるだけのセンスの持ち主が増えてほしいものです。

### ■子どもが子どもを傷つける

四方さんが提起した「子どもの能力格差による事故」がやはりありました。

▽一歳三カ月の女の子。六歳の兄の皿の食物に手を出し、兄が皿ごとひょいとよけたはずみに食卓イスから飛び出して落ちる。

▽買物から帰ってきたら、五歳の兄がポットの熱湯でミルクをといて、0歳の弟にまさに飲ませようとしているところだった。

▽三年生の兄が、自転車にひもをつけてショッピングカーにつなぎ、三歳の弟を入れて走る。弟は放り出されてケガ。知恵も運動能力もまさった年長兄が、悪意はないのにとんでもない事故を誘発しています。

▽五歳と二歳の姉二人が二階からおりる

### わいふ編集部編

### 母親たちの自分史

「わいふ」から、はじめて一冊の本が生まれました。

138号と160号にのった投稿や談話の中から、主として母親としてのナマの声をまとめたものです。

くらしの中から私たち主婦のあげた声が、「わいふ」の誌上だけでなく、こうしてだんだん拡がって行くことを何よりも嬉しく思っています。この一冊こそ、主婦たちが、主婦の力で作りあげた一冊といえるのではないでしょうか。

発行は青娥書房から。一月十五日発売。四六版並製で約二五〇頁。定価九八〇円です。

編集部でも予約を付けています。部数に限りがありますので、ご自分のぶん、お友だちへのプレゼントなどどうか早目にお申込みください。

編集部

ときフェンスを閉め忘れた。七カ月の赤ん坊が歩行器ごと玄関のたたきへ落ちる。裸だったので打撲傷が大きかったが、脳震とうだけで済み、後遺症はない。年長児のほうも赤ちゃんとなると、母親の気配りも限界を超えます。

▽一歳十カ月と六カ月の年子。兄の方が、小さくても重いミニカーを投げつける。絶対に二人だけにしておけない。

子どもと子どもの関係の中から、いろんなことが起きてきます。

▽三歳児が公園で四歳児二人に頭から砂をかけられ、逃げずにただ泣いている。砂を口に詰められて死んだ事件を思い出し、こんなときは逃げると教えた。

人間は本来群棲動物であるのだとか。危ないことをしでかす姿から、集団で思いきりエネルギーを発散させたい衝動が読みとれるような気もします。仲間をつくる機会が乏しいために、つきあいかたの無器用さが事故につながった場合もあるでしょう。子どもが群れつどい、安全に、年令にふさわしい冒険をすること。子どものために確保された時間と場があって、一人では無理だから複数の大人が見守る。その中に集

団保育の力量のある人材もいてほしい。こうなると、もう家庭のわくを越え、地域での育児の共同化の方向が見えてきます。

育児の共同化の将来像がどんなものであれ、とっかかりは友人同士で子どもを預け合う、公民館の学級で託児をしてみようあたりから始めるよりほかはありません。

しかし気にかかることが一つあります。

もしよその子をケガさせたらという心配です。メンバーが交替で保育係になっている鎌ヶ谷市の家庭教育学級でアンケートをとったところ、保育について気がかりなことの中で「子供のケガの責任はどこへ」でした。以来女性主事さんは、学級を開講するときに「施設保険に入っていますから、公民館で保育中の事故の責任が個人のところへいくことはありません」と説明して不安を除くようつとめているといえます。

母親同士が良い人間関係にあって、事故には偶然の結果だと納得していても、子どもには親がもう一人ついているし、そのまた親が乗り出してくることだってあります。育児を家庭のわくから解き放つ糸口をつけるために、保険制度の整備を考えてもい

いのではないでしょう。簡単な手続きとごく軽い負担で、二、三軒での預かり合いも含め、さまざまな形での保育に適用される保険があれば、人々の意識もどこか変わってくるかも知れません。

### ■子どもを運ぶとき

最後に交通事故のこと。子どもが歩き始めたその日から、心配しない日はないと言っているほど、私たちに大きくなるのしかかっている不安です。

先日、柏サークルの小さな会合で、自転車で乳幼児を運ぶ危険性が話題になりました。新興住宅地では、スーパーも遠いし子どもを家に残しておけないから、自転車で幼児座席を取り付けて走ることになりました。スーパーの前にはズラッと並んでいる自転車の半数くらいにはおチビさんの席がついているようです。

しかし、自転車専用道路がなく、白線が引いてあっても看板や電信柱をよけながらもたもたと走っていく、そのすぐそばを大型トラックがゴッソと通ります。行く手に駐車していれば車道のまん中へ出て迂回せ

ねばならず、しかもその姿たるや、荷台の席に四歳児、ハンドルの席に二歳児、スーパードッグが前のカゴにずっしりと入り、おまけに0歳児が背中にくっついていて、場合さえあるのだから、なんとも恐ろしい状況です。

自転車に三人以上が乗るのは、実は法に触れる行為なのです。千葉県道路交通法施行細則によれば、

「自転車にあつては、運転者以外の者を乗車させないこと。ただし、十六歳以上の運転者が、幼児（六歳未満の者をいう）一人を幼児用座席に乗車させる場合は、この限りではない」

固い表現ですが、つまり子どもは一人しか乗せられないということです。だけどもおまわりさんにかまされたという話は、身近ではあまり聞いたことがありません。交番のすぐ先が幼稚園というところで、園児を後ろに弟妹を前に乗せた自転車が毎日何台も目の前を走り抜けていても、知らん顔をしています。乗用車の定員オーバーには厳しいのに、幼児がむき出しの姿で車の波を泳いでいるほうは無視しているというのには、法を守れば通園や買物すら不可能にな

ることを警察でも知っているのでしょうか。それならば私たちは、見のがしてもらえらることを喜んでいれればいいのでしょうか。子どもの側から見れば、大人達が結託して自分たちを危険にさらしているということなのです。

### ■何が始まる

その柏サークルの席で一人が突然言いました。

「輪タクに子どもを乗せて走れたらいいのに」

輪タクってなかに、ほら、自転車のうしろにほろのついた人力車みたいなのがくっついていてあれ、ああテレビでやってた、マンガで見た、とどうにかイメージが一致しました。

一人用につくられた自転車に無理やり取りつけられるのと違って、箱にすっぽり入れば子どももラクチン、うとうとしても危険はずっと少ないことでしょう。

「輪タクで走ろうと思ったら、広い自転車道があるし、車の制限時速をぐっと落とさなきゃね」

輪タクの夢——これは象徴的です。世の中のしわよせを受けながら、守りの姿勢ばかりでいじけがちだったのが、くつきりと攻めに転じる発想であるような気がしました。私たちが何を望んでいるかをはっきりつかみ、それを社会に反映させていくことは可能でしょうか。

家において乳幼児を育てている母親たちは、社会的にはゼロに近い存在です。

自分たちで何かやろうとしても、子どもが熱を出した。土砂降りでは子連れで行けないという具合で、なかなか予定通り進みません。

それでも、子どもが大きくなってからではなく、子育てのさなかにものを考える女性が増えていることだけは確かです。何かが始まるかも知れません。

調査に協力してください。みなさん、本当にありがとうございます。四方さんのお宅で調査結果の分析をしている間に子どもたちがドロンと消え、あわてて捜索に出るといふ一幕もあって、この調査はまさに私たちの生活そのものでした。

文・鈴木由美子 討論・柏サークル  
分析・四方愛子、相場静枝、鈴木由美子

## こわい野菜？(2)

—身近な野菜の安全性をさぐる—

多すぎるさまざまな情報に迷わされて、今売られている野菜をどう求めて食卓にのせていくのが、あらゆる角度からみて納得のできる暮らしかたなのかを決めかねている、平均的主婦の立場を原点として、前回に続いて、私なりに手探りでこの問題の周辺をまさぐってみることにした。

### 安全保証つき野菜は

#### 有り得ない

今回訪れたのは、農業協同組合。日野市<sup>なま</sup>七生農協に自転車を走らせて、そこで実際に農薬を売っている経済部の部長さんにお話をきいてみた。

「農薬は有害じゃないかって？ そりゃ有害ですよ。だからといって全然農薬なしで野菜を作ってごらんなさい。収量は半減して、日本の人口の半数位の人の胃袋しか満たすことはできません。それでは困るでしょう？」そこでこちらでは、試験場で再三検査した結果、安全使用基準というのを設けて、それを守るよう、厳しく農家を指導しているわけです。

薬というのはすべて、使い方や量を誤ると危険なものなんです。あなた方が平気で

飲んでいる風邪薬だって、一度に大量に飲んだら、直接体内にとり入れるんだから、農薬よりもはるかに危いんですよ」

ここで私は、出発点からして、無農薬野菜の組織の側と農協側とは、観点を異にしていることに気づく。先ず、安全な野菜なるものを作って、それを希望者に売って、いこうという考え方と、国民の一部だけが救われても始まらない、国民全部の需要を満たし、その上で安全性に考慮を払って、いこうとするいき方と……。

又、一口に農薬といっても、その毒性の強い順に、特定毒物、毒物、劇物、普通物の四段階にわかれており、既に使用禁止になっているが、有吉佐和子の「複合汚染」などでその強毒性がさんざん騒がれているパラチオン（ホリドール）や、BHC、DDT、水銀剤などは、「特定毒物」よりも更に危険なもので、現在も農協にも農家にも無いこと。「特定毒物」には殺菌剤などがあるがこれは農業指導員が直接農家へ出かけて行って、必要性を見きわめ、使用方法をよく教えた上で売らなければならないこと、「毒物」は、除草剤や殺虫剤の一部が含まれるが、必ず説明した上で売るように

していることなどが明らかにされて、「複合汚染」や、食べ物関係の一部の雑誌で、「多種大量の農薬を売りさばっている農協」などと、目の敵のように非難されている農協も、実はもうけのために無差別に売っているのではないらしい。

更に、殺虫剤には、接触性のもの（虫が触れるだけで死ぬから表面にまけばよい）ガス性のもの（まいたあと、ガス化し、それを吸って虫が死ぬもの）浸透性のもの（果菜類の内部にまで入る虫のために中まで浸透させる薬）があり、このうち、接触性のものは、その野菜（果物）を食べる前に水でよく洗えば大丈夫であるが、一番こわいのは、中まで入っている、浸透性の農薬である。

「そんなの、使わなきゃいいじゃないですか？」と、すぐ素人考えを口に出してしまふ私に、

「いや、虫の種類によっては、これではか死なないものもあるから厄介なのです」と、現場の苦悩は深いのだ。

しかし、この薬も、日にちがたてば消える。その証拠には農家は何回でもまかねばならない。そこで農林省では、色々実験して

みて、各薬毎に収穫何日前に施すかという基準を細かく規定していて、それは大きな表にしてその事務所にも貼られてあった。一軒一軒の農家が、すべてその表の通りに守っていると信じるのは甘いと考ええる見方もあろう。でも、それを疑って、無農薬野菜の組織にとび込めば、それでコトは済むのであろうか？

「確かに無農薬野菜のことは最近よく耳にしますね。しかし私は、そういうものは全然信じていません。

大体です、絶対に安全だと保証できる野菜なんてのは有り得ないんですよ。たとえ農薬を全然使わずに作ったとしても、土壌そのものの中に重金属類が含まれてしまっている。作物は根からそれらを吸っているんですから。

七・八年前に日野のこの辺りでも出たという、カドミウム汚染米を例に取ってお話ししますとね。

農薬の中にはカドミウムは含まれていません。カドミウムは岩石の中から出たとも考えられるし、どこからか火山灰が流れ込んだのかも知れない。近くのメッキ工場の汚水が、農業用水の中に流れたともいわれ

る。とにかくある地域の水田にできた米が汚染された。

ところが更に追跡調査をしてみると、その用水を使っていない所でもカドミウム米が出てきたり、翌年はもうその地域の米の汚染度はゼロだったりするわけです。

こんなわけで、作物の安全性ということ考えた場合、農薬よりも汚水の方が余程恐しいですね。今度の琵琶湖条例など、その意味で大歓迎だし、こういう動きが、もっと全国に広がってほしいですね。

ところで、作物に必要なものは何だと思えますか？

「えーと、空気に日光に水と養分……」

と、自信なげにつぶやく私に、

「そうですね。その空気というのは？」

先程の正解に気をよくした私は、学校時代の理科の授業を思い出して、

「たしか、炭酸ガスでは……？」

「そう答えると思った」と、今度は見事はずれ。人間が吐く炭酸ガスを植物が吸う

のは、光合成の場合のみで、植物の成育に必要なのは、やはり酸素なのであった。

「その酸素を、植物はどこから吸っていると思いますか？」

「これまた、葉などという、浅はかな答は間違いで、正解は根である。」

「ちょっと実験してみましようか」と、部長さんは私を庭先へ連れ出して、鉢植えの花を鉢から抜いて、乾いた土のついた根を、水の中に突込んでみる。

「ホラ、こんな乾いた土の中にも、こんなに空気が含まれていることがわかるでしょう」

なるほど、水の中にはブクブクと泡が一ぱい出て来た。

「だから、作物のためには、空気の沢山入った、良質の土でなくてはいけないんです。良い土壌を作るためには、化学肥料だけ与えていたんでは駄目で、堆肥などの有機肥料を多く施すことが大切なんです。」

こちらでは、そういう土作りの指導もしています」

おやおや、これもかなり間違った先入観を、農協は持たれてしまっているようだ。

一部の書物や雑誌には、全ての農協が、化学肥料を売りまくって、日本中の土をかたくしてしまった張本人のように書いてあるのだが、これなら、無農薬野菜の組織の人間達が説いている言葉と全く同じである。

行きついたところは？

「無農薬無農薬と騒ぐよりも、ハウス野菜の不買運動でもなさったらどうですか」

「ハア。ハウスものはそんなに駄目？」  
「僕なんか今八百屋へ行っても、トマトなんか全然買う気になれませんね。」



大体季節に合わないものを作るといふことは、色々な面で無理や不合理をしていることになって、余計な薬も使い、経費もかかる。栄養価も、露地トマトの1/3しかビタミンCがないなど、かなり劣りますしね。ビニールが雨や埃で汚れると日光の透過率が下って、第一味が美味しくない。

ハウスは害虫が飛んでくることが少なく、雨による病気も少ないのだが、反面ハウス特有の、ウイルスなどによる病気が大変増えていきますよ」

「そういえば私たち、サラダなんて一年中食べるものだと思いますし、野菜サラダといえば、トマト、レタス、きゅうりは必ず使いたいたいには決めてかかっている所がありますね」

「そう、そう。農家の方にも、消費者に迎合してきた、主体性の無い、悪い面があるのですがね。農業というのは、今の日本の社会で一番零細な企業ですからね。よく売れば作らざるを得ないというところがあるわけです。その点、消費者の方にも少し賢くなってもらいたいですね」

結局は私たち消費者の態度に戻ってきたのであった。

この話を、先号で紹介した、グリーンプラザの経営者の方に話したら、グリーンプラザでは、原則としてハウス栽培はやっていないけれども、十二月には、お正月向けに、消費者の要望に応じてトマト、きゅうり、レタスなどを少し作って出しているそうです。ここでも、理想の農業(?)の

一角が、消費者の要望によって崩されているようだ。

「農協の方がそういう前向きの姿勢で取り組んで下さっているのは、私達にとっても大変喜ばしく、心強い限りですが、市場で、泥つきのものや曲がったきうりが買いやかれてしまうのは何とかならないものでしょうか。うちの場合でも、曲がったきうりばかりいつも売れ残るんです。普通に作れば当然曲がるんですがね」

またしても、消費者自身の判断が問われているのだ。

### 無農薬野菜の定義

市場に野菜を出している農家を指導する機関に農業改良普及所という所がある。東京都の場合は国と都の共同事業であるが、各都道府県にも設置されて、農業の改良をめざして農家の指導に当たっている。

八王子にある南多摩農業改良普及所の普及委員主任の方からは、こんな話をきいた。

「公害病が問題になり始めてから、農業の規制も厳しくなりましてね。現在四つの法律で取り締まられています」

#### ① 厚生省による食品衛生法

これにより農業残留基準が定められ、現在26種の農薬が認められている。

#### ② 農林水産省による農薬取締法

#### ③ 毒物劇物取締法

①の残留基準を受けて安全使用基準や防除基準を設けている。

#### ④ 消防法

これは保管に関するもの。「よく消費者の方達と話し合う機会があるのですが、年代の違いによって、意識にもずれがあるようです。」

つまり、戦中、戦後の食糧難時代をくぐり抜けて来た人達は、先ず量を十分確保してから、安全性にも気をつけてほしいと言われるし、戦後、物が豊かになってから育った人達は、何が何でも農薬はダメだから使うなという態度で、それによって量が減ったり、高くなったりすることに無頓着なのです」

また、無農薬野菜の定義が何だかわからないという。全然農薬を使わないものというのか、それとも、食べる段階で農薬がつかいたり残ったりしていないものを指すのか——前者であれば、虫喰いだらけの野菜ということになるし、(無農薬好みの消費者が必ずしも虫喰ひ好みでない所に、生産者側

の悩みがある)後者であれば、今でも一般に売られているものがそうで、今後とも一層安全性に留意して、自給度を高めるためにもそれを目指したいと彼は言う。

一部でよくいわれている、農家では自分の家で食べる分だけ農薬なしで作っているという話を、「広い農地の中でそんなことはできっこないし、もししたとしたり、無農薬の部分に虫が集中して大変なことになります」と否定し、「有機肥料が土に良いことは確かですが、それは一方で、ねずみや虫などを寄せ集める結果にもなり、なかなか難しいのですよ。消費者の方ももう少し生産者側の実情をわかってほしいです。我々は、野菜作りの指導を通して、農民の人間教育にも携っているつもりなんです」と語る口調には、国民の健康を預かる者としての気迫すら感じられた。

☆

今回は、一般に売られている野菜に、危険を語る側とは別の光を当ててみた。これに対する反論もあるだろうが、自然を相手に生きものを育て上げる大変さがわかり、希望と安心感の湧いてくる話であったことは確かである。(続く) (早川裕子)

# 離婚のしかた教えます



## 連続ルポルターージュ(最終回) — 離婚の手続き —

和田好子

さて最終回は、具体的な離婚の方法を探ってみることにしよう。

結婚生活中に離婚の方法など、縁起でもないことを調べる人はまずありはしない。そこでひとたび問題が起ると、どこへ相談に行きどうしたらよいのか、皆目見当がつかず、水におぼれた人のように、手近かの友人、知人を捕まえて訴えることになる。この連載のせいでも、編集部にも私個人にも相談が持ち込まれたが、当事者の困惑ぶりはお気の毒というにも余りがある。

例えば夫に深刻な異性関係があると分ったときなど、あなたはどうしますか？

弁護士で、家庭裁判所の調停委員でもあつた、藤川成郎氏に聞いてみよう。

駆けこみ相談はどこへ？

—— 夫婦間に、これは離婚を考えなければならぬんじゃないか、というような大問題が起つた場合、どこへご相談に上つたらよろしいでしょうか？

▼そうですな、まず弁護士にご相談になるのがいいでしょう。

とくに婦人の弁護士ですね。女性の立場に立つてものを考えるような婦人弁護士がそういう相談に対して受入れ態勢を作っているところもありますから、そういう方の事務所なんかがよろしいんじゃないかと思えますね。

—— 家庭裁判所はいかがでしょうか。

▼家庭裁判所には受付というのがあります。そこへ行きますと常時七、八人の人が待機していて相談に応じてくれます。

申し立てを受け付ける場所なんです、まだ申し立てまで行かない人も、来ると思っています。どうしたらよろしいか、相談に応じて申し立ての方法など説明してくれるわけですね。

—— 弁護士さんのところへ相談に行くとしますと、費用はどのくらい？ そのへん見当がつかず、心配している方が多いと思いますか？……。

▼まあ、最低一時間五千円ぐらい取られるでしょう。弁護士のサービスの値段という

のは、ハッキリ分らないものでしてね、高いところもあれば安いところもあります。五千円というのは低い方の相場ですね。時間が長くなれば何万になるということもあるわけで……。

ですからお金のない人のためには、法律扶助協会というのがあります、そこに嘱託の弁護士があります。そういう方に相談されれば、相談自体は無料です。その指示に基いて法律扶助を受けるかどうかは、また考え直せばよろしいんです。それから、東京の場合は各弁護士会で、有料法律相談というのをやっています。

その場合は定額で……だいたい一時間五千円、あるいは三千円くらいのもあるかもしれません。そして相談を受けるとともに弁護士を紹介するということもやっておりますから、ご利用になるとよろしいでしょう。その他にも、東京都なら都民室というところに相談所がありますが、家事上の問題もやっているとありますよ。

—— 弁護士会というのは、どこにありますのでしょ。

▼ 弁護士会は地方裁判所ごとにあります。地裁は東京だけが例外的に三つあります

が、地方では各県に一つぐらいということですね。それに対応してそれぞれ弁護士会があるわけですね。

それから、地方裁判所には支部があるわけですね。そこにはまた弁護士会も支部を作っております。

—— ご相談にあがるころは、いろいろあるということですね。

### 離婚しないで頑張る法

ここに、実例を一つ用意してまいりましたので、これに沿ってお話をうかがわせてください。

三十代の夫婦で、小学校と幼稚園の子どもがあります。夫は会社員ですが、仕事上の都合ということで、二年ほど前からときどき外泊をはじめ、次第に妻と夫婦関係がなくなっていました。

最近、「別居したい、一人になりたい」といい出し、驚いた妻が友人に相談の上、興信所に頼んで調べたところ、異性関係があることが分ったのです。相手の女性は親兄弟と一しょに住んでいて、そこへ泊りに行っていただけですね。その調査には出てき

ていませんが、子供がいるという噂もあるそうで、妻はどうしたらよいか分らなくて、ノイローゼのような状態です。

離婚すべきか、このまま別居されてしまっても戸籍上の妻として頑張ったほうがいいか、迷いに迷っているのですが……。

▼ まア普通でしたら、まず相手の女性に逢いましてね。別れるよ、というんですな。

—— 別れるって言って、別れるでしよかしら？

▼ それは男との関係の深さによりますが。別れそうもなければ、サテどうするかということになります。

—— 別居されても頑張っていると、男はむこうへ行つて家族を新しく作ってしまう。だんだんあちらに権利が生ずるということはないでしよか？

▼ 法律では、夫婦仲を悪くした原因を作った人間、その例では夫のほうから、離婚を請求する権利を認めないんですね。従つてどのように長く別居生活をしようとも、夫婦関係を解消することは、その夫の側からはできないですね。

—— むこうに子どもできて、認知すればその子には相続権など、権利が生ずるでし

ようね？

▼生じます。親子関係が生じますから。

——そして同居して扶養している。そのためとの奥さんに生活費も寄越さない、といった場合には？

▼法律上婚姻費用の分担……結婚生活にかかる費用を、請求できますので、「婚姻費用の分担を求める調停」の申し立ては、いつでもできるわけです。

それから、もどって来いという調停の申し立てもできます。

——でももどって来なければ？

▼そういう場合には別居のまま婚姻を続けるということになるので、婚姻費用の分担を請求する。

——相手の女性に何か権利が生じてしまうことはないでしょうか。

▼民法上はありません。しかし男がその第二の妻……そのような関係は、重婚の内縁関係というんですがね、その女性に遺産で財産を贈与することはできませんし、第二の妻が同居して以後の財産の形成に貢献したということになれば、何らかを認めていいではないか、という考え方は出てくると思えますね。

——そのへん、あまりにも長い間、頑張っていていいかどうか、問題はありますね。

でも一方的に放り出されて泣き寝入りさせられる、というものでもないのですね。

▼そうです。

### 応援の子供をつれて家裁へ

——そういう場合、調停の費用などは？

▼調停は、国の予算でやっていることですから、費用はほとんどかからないといいいでしょう。

——こういう場合には、やはり弁護士さんをお願いして、申し立てたほうがよろしいでしょうか？

▼やはり、複雑なとりきめをする場合には必要でしょうね。

——弁護士さんをお願いしたときの費用は？

▼まあ、やはり最低、三十万ぐらいかかるんじゃないでしょうか。解決までにかかる手間によりますが……。しかし例の法律扶助協会では、費用の立替をしてくれますし弁護士も安く頼むことができます。十万円くらいでやれたという話もありましたね。

——誰でもそこへお願いできますか？

▼所得の低い人ですね。

——奥さんの場合、夫の所得が高ければだめですか。

▼イヤ本人ですよ、夫は関係ありません。

——それじゃたいいは大丈夫ですね。それから、調停を申し立てても、相手方が呼び出しに応じないとしたら、どうでしょう？ 出ても来なかったら？

▼法律では、正当な理由なく呼び出しに応じない、というときには罰金を払わせられることになってます。しかしなかなかそこまでいくことはむづかしく、根気よく出頭をすすめて……、

——どういう方法で？ ハガキなどですか？

▼電話です。電話とかハガキでね。

——きくところによりますと、会社じやんじやん電話がかかり、ことがとだけ外聞が悪く、いたたまれないで夫が呼び出しに応じたという例がありました。かなり催促をしていただけるわけですね？

▼ええ、それはするはずですよ。会社等で外聞をはばかる人は、たいてい速かに出てきます。(笑)

しかし個人業主などでは、なかなか出て来させる名案がない場合があります。

—— サラリーマンのほうが安心ですね。

二度と相手の顔も見たくない、という場合があるようですが、調停のときは、どうしても双方顔を合わせなければならぬんですか？

▼イヤ、事情によって別々にきくというこ

離婚事件申立人の夫妻別の割合

昭和27年	夫の申立て		妻の申立て	
	22.9%	77.1		
30	24.8	75.2		
35	29.6	70.4		
40	30.3	69.7		
41	28.9	71.1		
42	28.9	71.1		
43	28.8	71.2		
44	28.6	71.4		

とが、しばしばあります。

—— 刃傷沙汰などもあるようで、恐ろしい気がしますが。

▼それはもう、事情を考慮します。まあ、廊下で子供がオヤジをなぐるとか……いろいろありますよ。

—— 子供を連れてくるのですか？ いいのですか、そんなことして？

▼しばしば連れてきます。とくに連れてくる必要性はないんですが、味方をふえて、お母さんとしては心強いと思いますね。そういう頼みになるのは高校生以上の子ですが、小さい子は面倒見る必要上、これも連れてくる。小学生などは教育上よくないの、連れて来ないように調停委員がいうと思います。大きな子なら、そばで聞いているのは差支えありません。

—— 夫の不貞を、興信所で調べてもらうとか、証拠を示すことは必要でしょうか？

▼必要です。しばしばシラを切ることがありますからね。しかし子供ができたというようなことなら、戸籍上で分りますよ。

—— この実例の妻は仕事を持っているのですが、今まで夫は何もいっていないのですけれど、調停の場で、自分は女房が職業

持つことに同意してないと、悪く言い立てたらどうでしょう？ 夫の同意なく仕事を持つと、不利だときいていますか？

▼どのくらいやっているのですか。

—— 結婚以来ずーつと、十年以上です。そんなに長期間続けているなら、今さら何を言っても、同意していたものと見なされると思います。認めたということじゃないですか。

—— 調停はどのくらいの期間、かかるものでしょう？ ケースによってずいぶん差があると思いますが……。

▼月に一べんずつやりますからね。統計を見れば分ると思いますけれど、二、三回から十回くらいかかるものもあります。

### 預金や家を担保に取る

—— いよいよ離婚するとなれば、財産分与や慰謝料の話し合いになりますね。その場合、財産がなければ分与もできない、とりきめをしても払わなければそれまでだ、ではたいへん困りますが……。

▼財産がなくとも、働いていればその稼働能力は財産価値があります。

給料から毎月払わせられる？

▼そうですね、それが可能です。

慰謝料の額は、夫が妻に対して苦痛を与えた程度によってきまるのですか？

それとも支払能力によって？

▼基本的には苦痛を与えた程度、ということですが、同時にお金のことでですから、財産とか稼働能力が問題になります。これはふつうの貸金の債権と同じことなんでしょう。ですから取りやすい人と取りにくい人とあるわけです。

子供の養育費なども、さきほどの重婚の内縁関係なんかになれば、二家族抱えてとても多くは払えない、ということになりますか？

▼まあねえ。できる範囲ということですから。しかし何回でも調停を申し立てて、話し合うことはできます。

☆☆☆☆

と、お金の話はいささか心細いことであったが、藤川氏によれば法律はけつして女にとって不利ではなく、家裁の調停委員もこのところ年齢が若返って、イキのいい婦人弁護士などもいられるそうで、おおいに利用すべきだということだった。

下表と次頁の表を見れば分ることだが、協議離婚はお金の面ではずいぶん不利で、

家裁の調停を受ければ、それが全額支払われないことがあったにしても、(払われたかどうかはこの表ではわからない)とにかくとりきめ無しでそれっきりということには、ほとんどないのだ。協議離婚では平均して七〇%くらいが「支払いなし」となっている。

そこで、実践した人の話を聞いてみた。前回の事例1のMさんは、

「何にせよ弁護士を頼んだのが成功だった。その費用がかかるといっても、ちゃんと取れるものが取れ、たった三回の調停ですんだ。期間が延び、逃げ廻られたらどんなに不利だったか知れない」という。彼女は家の権利証を持ち出し、弁護士に頼んで夫の銀行預金を差し押えてしまった。夫は横領だと抗議したが、名義を書き換えたわけなし、話がつけば返すと云って頑張った。

藤川弁護士も、あるものがあるなら、担保を取っておけという。支払いを引き延されたらそれがモノをいうわけである。

「でも意外にお金がかかって困ったわ。」

預金を差押えるにはその一〇%だかのお金を積まなければならなかったし、権利証をかくすのに、銀行の金庫を借りようとしたら、預金がなくちゃだめだとか……」

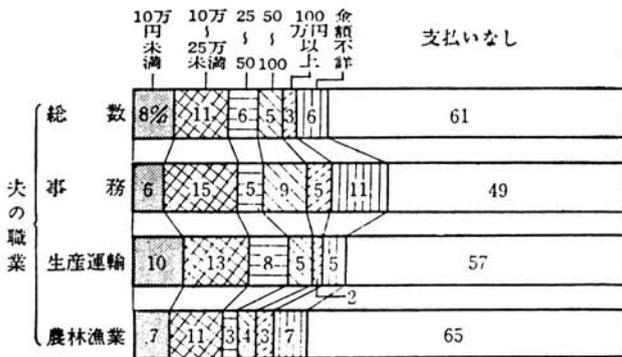
そういう手続き一切、弁護士が熱心にかけてくれて、ホントに助かった。

「考えてみれば、弁護士の費用なんて、けっきょくあっちが払ったようなものだもの。頼まなければその程度の損害ではすまないわ」

東京家裁における離婚調停の慰謝料・財産分与(合計)決定額の分布 (昭和46年)

	5万円以下	10万円以下	20万円以下	30万円以下	50万円以下	100万円以下	200万円以下	200万円をこえる	平均値
総数	7.5	9.7	12.6	15.5	22.5	13.7	15.7%		96.1万円
夫の支払	2.4	3.6	12.5	15.8	22.6	14.2	16.6		99.4万円
妻の支払	5.1	6.1	0.1	9.7	13.3	11.1	20.0	6.7	44.5万円

協議離婚における慰謝料・財産分与のとりきめ額  
(昭和43年, 9府県, 厚生省調査)



家裁では、十年以上前のことだから、たしかに調停委員の頭が古いということはあったが、でも法律は女の味方だと実感したという。

事例2のKさんは協議離婚である。

夫に争うほどの財産がないこともわかっていたし、強いて取ろうという気もなかった。それで、それぞれのきょうだいに立ち合った。

でもらい、とりきめをして別れた。

とりきめでは、下の子供がこれから大学なので、その学費をまず別口を除き、残りをすべて切半、家の中の道具類は、何でも持っていてよい、ということだった。

「学費をとりのけたら、たいしてありませんでしたよ。でも私も取る気もなかったし……道具類は持っていていいといっても使ってる冷蔵庫や洋服ダンスなんか、取るわけにもいかないじゃない?」

離婚前、半年別居していた。別居に当たってKさんの借家の家賃を、夫は持つと約束したのに、何カ月分かよこさなかったのといささかモメたが、結局は出させた。

これは藤川氏の話に出てくる、婚姻費用の分担に当るわけで、家賃しか出させなかったのはいささか損したということかもしれない。

協議離婚はお金に関しては有利とはいえない。しかしMさんにいわせると、裁判離婚もあまり有利ではないそうだ。

「裁判にしようかって、弁護士と相談したのよ。でも裁判は判例を重んずるから、今までに決められた以上の金額はなかなか認められないんですって、かえって損だと

いうことで……」

調停離婚に踏み切ったという。

離婚後は、MさんもKさんも生活のために、朝から晩まで働いた。Mさんは昼は保険会社につとめ、夜は塾の教師をした。Kさんも、昼は医院の事務員、夜は手芸を教えた。二人とも十二時間くらい働いたのである。

三食昼寝付きなどといわれる、主婦の生活(実態はそんなものではないが)に比べれば、激烈な変化といえよう。

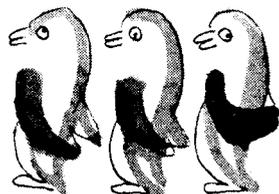
しかし自由とはむしろこうした生活の中にあることを、彼女たちは実感したのであった。

「別れてみて、以前は自由ではなかったことがよくわかった」とKさんはいい、Mさんは、

「離婚なんて、奨励すべきことじゃありませんけどね、むしろ我慢することはない。それを原点にして、後をふり返らず、新しい道をどんどん進めばいいのよ。後悔するくらいなら、離婚しないこと」

Mさんの言葉を結びに、連載を終る。

おしゃり



## 扁桃腺とわたし

茨城県結城郡

中山 芳美

丈夫で、長持型の私も、ついに四泊五日の風邪に、とりつかれてしまった。しかも、生れて初めて、扁桃腺とやらに……。熱は出るし、のどは腫れて、白く化膿して、つばを飲み込むのも大変な始末。寒いので……。苦しいのって……。

こんなこと言うと笑われてしまいますが、結婚するまで、扁桃腺が、のどの、どの部分にいるのか、正式には知りませんでした。いえ、主人が、扁桃腺持ちで、風邪をひくと、すぐ、のどが痛いと言いますので、そんなある時、「扁桃腺って、のどの真中に下がっている、のどチンコのことでしょう」と言って、笑われたことがある程、てっきりあのかわいいのどチンコが、扁桃腺と思い込んでいたくらいなのです。

ところがところが、我が息子たちも、二人とも父親似で、扁桃腺持ちときているのですから、話は、冗談じゃありません。急に熱を出して、医者通いをする毎に、「全く、悪いところなんかお父ちゃんに似ちゃって、困ったものよ」とほやいていたのに……。今度の私の扁桃腺発病によって、主人曰く、「どうだい、具合は……芳美が扁桃腺持ちだと知らなかったよ、大発見したよ。どの位痛いか、どれが扁桃

腺なのか、子供たちが、だれに似たのか、これでもよく解っただろう」って。全く、今度の風邪には、参りました。

特に、乳のみ児をかかえている者にとっては寝込むことは、大変なことですよ。どんなにつらくても、夜中は起こされるし、オムツも替えてやらねばならないし、お乳も与えなきゃならない。つくづく、母親は、病氣など出来ないと思うのです。

わいふの皆様、どうぞ、風邪など召しません様に。

## 一五五号を手にとったとき

神奈川県津久井郡

佐藤 安子

一行一行読んでいくうちに、胸が高鳴ってきました。随筆にして、座談会の会話にして、そして投稿も、私の代弁のような、また私への批判というか、批評というか、とにかくとっても身近に感じられました。

日頃のどういったらいいのか、何て説明すればいいのかわからない”というような気持が、全部言葉によって表わされている。そう、これも、こんな事も、これだっていたかったんだ——そううなずきながら読ませて頂きました。

## 私も生きています

富山県高岡市

片岡 栄子

五月末の大量申し込みの中の一入です。一度は、私の名前が載らないと、「わいふ」に参加しているという実感が湧かないので、まず手始めにこのコーナーに投稿しました。

独身時代は、私も自分なりにいろいろ考え、信念らしきものも持っていたのですが、結婚をし、二人の子持ちにもなると、感受性も思考力もどんどん鈍ってしまってしまいました。また「生きる」ことについて真摯に話し合う友もなく、侘しい思いをしておりました。そこへ「わいふ」様の登場。ありがとう!!

いつか、何かを感じ、誰かに切実に語りたかった時にわいふがいてくれると思うととても嬉しく思います。今はまだ二歳七カ月と四カ月の二人の男児の世話に明け暮れていて、自分のことまでは手が回らないのです。でも、きつといつの日にか、わいふの皆さんの生き方を参考にして私も自分だけの歴史を刻んでいきたいと思っています。

私も生きてるゾ!!

——一六一号の竹内さんへ——

私など、元気な二人の子を持っていてさえ毎日ヒステリーをおこしながら生活をしているの

に、竹内さんは大変立派だと思えます。私だったら、つぶれてしまうでしょう。これからも、力強く生きていって下さい。

## セックス雑感

静岡県御殿場市

末摘 はな

「わいふ」の皆様、ご苦労様です。私も例の読売新聞の記事により、存在を知った一主婦です。

私も何か協力したい気持は「胸いっぱい」ありますが、現実には、オムツ族と口ばかり達者な男の子に目下苦戦中につき、「育児」という名のもとに甘えています。

さて、私の「性」についてですが、今まで他人と胸の内を話したことはなく、開かれていないタブーとなっている話を、私はこう考えています。

夫は性が強く、自分が疲れていない限り、毎日タイプの人です。私は忘れない程度でいいです。

したがって、夫婦のいさかきといえ、すべて「セックス」のことからです。すべてここから発生して、ついに、さだまさし風の関白宣言なるものがあり、私は一方的に言われてショックなこともありました。

彼の主張は、私からも求めて欲しいというこ

とです。「セックス」がうまくいかないと、他の日常生活への影響も大なので、私としても昼間でも一人もの想いにふけることもあり、ある時は「いやだなあ……」と想います。

私の方の原因は肉体的な疲労です。ですから今は、読書とお昼寝のみに、昼間時間を費しています。そうすると肉体的に調子いいので、精神的な問題が解決すればいいわけです。それも精神的にすべてついていけるとは思いませんが、まあまあつき合えますので、今のところ夫婦間もうまくいっています。

親、兄弟、子供、友人との関係と違う点は、やはり肉体のセックス関係ですので、良くも悪くもある因がここにあります。セックスは、生活の中の下(しも)の方ではなく、「軸」となる行為だと思えます。夫婦間の潤かつ油的な働きも持ち合せています。

## 自分の性をみつめて

千葉県

O・Y

私など最近では居直り、「この土地も少しずつ変わっていくだろう」なんて思っています。勤めて九年目ですが、九年前の私にはおんなの問題について話せる状況などゼロに見えていました。

今月の「わいふ」とても関心をもって読まさせていただきます。私はとどのつまり、男と女

の關係は、その男と女の性關係に凝縮されて表われてくると思っております。頭の中でどうのこうの考えても、まだ少なからず男への媚をふくんで女を意識している私などは、抱かれる側にいる人間で、このことにおいても、私はまだまだ女である自己も解放してもいないし、自立もしていない人間だと思えました。

これからも、何かとご相談させていただきたいです。

## 心たのしい病院生活

武蔵野療園病院

高辺 芳子

入院して四カ月になります。

主婦の病氣という大悲劇が、私の場合は、何の憂いもなく、のんびりと病院生活を送っていただけるので、ありがたいと思っています。

年取ってからの子持ちなので、小学二年、一年の男女の子供は、九州の実家の老父母、三十すぎた独身の弟と妹に、大事に育てられています。

自分の通った田舎の母校に、我が子を学ばせる機会が訪れるなんて、考えもしないことでしたが、うれしいことでもあります。

上げ膳、下げ膳で、一日がまるまる自分の時間という、めったにない経験ですので、何か雑文でも書こうと、原稿用紙を買いこみましたが

書くということは、とても、まだきい(おっくう)ことなので、なかなかかどりません。

## 幼い命よ、やすらかに

群馬県吾妻郡

竹内よし子

新聞に産後の肥立ちが悪いノイローゼの母親が4人の子供を殺してしまった記事を読んで、胸が詰りました。次々に我子の口と鼻をふさぎもがき苦しんでもなお、おさえ続け殺してしまつた母親の悲しい叫び声が聞こえてきます。自分達を愛し守ってくれるべき母親に、ある日突然殺されてしまうのです。うすれゆく意識の中、幼い子供達は何を思っただろうか。あまりにも悲しい。

しゅうとめに二人目の子供を産んだ時から、「もう子供は作らないように」と言われていたので、折り合いが悪かったとか。しゅうとめから毎日いやみを言われ、体の具合もすぐれず、4人の子供の世話に疲れてしまったのだらう。誰も自分を救ってくれずどんなにか辛かっただらう。でもこのお母さんに、もっと強くなって欲しかった。

私も実は12月になると、4人の子供の母親になるのです。だからこんな悲惨な記事を読むたび、人ごととは思えないのです。自分も同じ立場だったなら、絶対に大丈夫と言い切れるだらう

か。でもひとつ私をささえてくれるものがあります。今はもう亡くなつてしまつた私の母親の生き様を思う時、私などまだまだ甘えていると思ふのです。

それにしても、生も死もまだ自覚のない幼子の命を親の都合で奪つてしまうようなことはやめて欲しい。

## 経済的自立事始め

東京都大田区

原 ゆう子

十二月の声を聞く頃ともなりますとさすがに冬らしくなつてまいりました。

この寒さの中、何を思つてか私めは競艇場の臨時要員として、暖かな家を飛び出して行くことになりました。アルバイトとしては割に率が良いようですが、一カ月も過ぎた頃に皆様むけリポートをお送りすることにします。

男の子二人を家においてですので心残りですが、何とか経済自立を計ろうと思ひます。

そこでどなたか、子供の障害保険を御存知の方に、扱っている保険会社をお教え頂きたいと思つております。自分がけがをした時と他人にけがをさせた時に通用する保険を御紹介したいと思ひます。

どうぞよろしくお願い致します。

電話〇三(七五七)二〇五五

## 銀杏の町から

熊本県熊本市

松橋 素子

10号たのしく拝見しました。

「子供でもなく、大人でもない私たち」和田麻子様の文、面白かったのですが、ノンフィクションなのでしょね。まるで創作のように筆達者で……。頼もしいですね。

熊本は、銀杏の多い町です。私は黄色が大好きなのですが、初冬の町のあちこちに銀杏の黄色があふれていて、うれしくなります。

## あいさつは何と？

千葉県柏市

徳光 利子

10号、岩本様の御意見、興味深く読ませて頂きました。

実は、私の友人にも「ただいま帰りました」と、別居のお嫁さんに言わせていらっしやる方がおります。前々から奇異の感を抱いていた私は、「やっぱりここにも」と、ペンを走らせることになりました。

わが家の息子も十年程前に結婚、以来ずーっと別居しておりますが、そのような挨拶はしませんし、またそれで当り前だと思っています。

なぜなら、息子が結婚と同時に一家を創立し

戸籍も別、経済も別になる以上、「ごぶさたしております、お元気ですか」の方が、自然だと思われまます。

戦前の家族制度華やかなりしころならともかく、新憲法下の別居家族（核家族）では、親がそのようなことを強いるのは、何となくナンセンスのようにも受け取れます。

昔から、日本の母親は子供に明け子供に暮れるような、子供ベッタリ型の人が多く、結婚という一大変化があつても、急に子供離れが出来ないのかも知れません。その結果が、「ただいま帰りました」という挨拶になったのかも分りません。

結婚した息子、娘たちには、若い二人の世界があるのです。親は挨拶の言葉にこだわらず、大きな目で、その自主的な活動を見守ってやりたいものです。

「ごぶさたしております。お元気ですか」の挨拶は、何となく他人行儀な響きを感じるのかも知れませんが、一たん事が起きた場合、何くれとなく心を配り、相談に乗ってくれるのが親子というものでしょう。又、そうあるべきだと思います。

古来、血は水よりも濃し」という名言もあるくらいですから……。

## 「言いたい本音」

東京都青梅市

匿名希望

五年生になる息子の授業参観で、めずらしくクラブ活動の様子を見ることが出来ました。少々早く出かけたので、体育館の中で待つことにして入って行きました。そして、私はもう始まっているのかと思つたのです。それは同時代の澆刺としてバトミントンに興じる姿でした。自由で、のびのびと、そして汗をふいている様子は、清々しく、この快い疲れを癒す場が、自分の家にあるのだらうと、つくづく羨ましく思いました。

子供達がドヤドヤと入って来ました時、十人余りの女性はスポーツバックに、身仕度を整えて出て行きました。それは、ほんの十分程、目にした光景でした。

結婚して十一年。用事がなければ外へ出るものではない。好きなことをしている人のことは「ご苦労なし」「取らぬ金は使えない」といった類いの言葉しか口にしない両親との同居では、いやが応でも家にひきこもりがちです。まして他県から嫁して来たものは、友人も出来にくく、いろいろなサークルにも、ロコミのようなものがあつて誰でも入れてもらえるというものでもないようです。又両親のある人はなかな

かさそつて下さる方もありません。ただただ言われたことに逆らわず、自分の意見を言わず、したいことも出来ず、子供の育て方にまで口を出され、この頃は胸のつかえる思いです。

一年程前、一日中一緒に居ったのでは、自分の性格までいじけてしまうような気がして現場事務として、近所の工場に勤めに出ました。思っきり自分を發揮していた矢先、姑が交通事故故に合い一カ月余り入院してしまいました。帰宅出来た時、舅が脱腸と十二指腸かいようで入院、久しく寝ておりました。今では二人共、私のしている内職を手伝ったり、家の周りの事、畑仕事も出来るようになってくれるましたので、又勤めに出ようかと考えています。それにしてもこの一年間、いろいろなことを考えさせられました。

救急車で運ばれた医者の診断が悪かったといつては、同乗して行った私が(病院を指名することを)言わなかったからと言われ、病院の事が口に合わないといつては、好きな野菜を煮たり、おひたしを作つて持つて行つたり、それでも当り前で、義妹達からは礼の言葉の一つもない。つくづく、法律で言う親の面倒は子供達というの、どう言うことなのだろう。夫も何もしない。そして、私には何の権利もない。

じつと我慢している私にとって、夜ふけて見る新聞、雑誌など、そして始めて投稿する事は、

家の者達に対するささやかな抵抗なのです。

## 書評のこころみ

東京都杉並区

友松 悦子

最近号、また少しおもしろくなって来ました。特に「手探りの自立」は、本屋さんの店頭をにぎわすかっこいい母性論なんかよりずっと重みのある、いい取材をしていると思います。単行本としては是非出版して下さい。

いろいろな本を読みましたが、一回読むともうそれっきりで友達にあげてしまつても惜しくない本と、手許に置いて何かの時の参考になりたい本と、女性に関する本にはその二種類ありますね。

この秋読んだ本のうち、前記二種類のうち後者に属するものについて、書評を書いてみました。御参考になれば……と思います。

編集室の忙しきは相変わらずでしょうか。時にはお声をかけて下さればお手伝させていただきたく存じますが……。子供にもようやく手がからなくなりました。

八十年は私達にとって発展の年でありますように、と心から祈らずにはいられません。

### 「女性のライフワーク」

福本英子著 潮文社刊 七八〇円

著者は七年間中学校の教師をつとめた後、武

蔵野美大に入學。結婚後キャンパスとは無縁のジャーナリストとして、科学と宗教関係について健筆をふるっている異色の人。著者自身の体験からも「いま、女性にとっては多様な生き方ができるいい時代だと思う」と言っている。ライフワークというものをどうやってみつけたらいいのか、ライフワークとしてどんなものがあるのか、続けていくためにはどうしたらいいのかなど多くの実例を集めて具体的に紹介している。そろそろ何とかしなくてはと暗中模索している私達のために、沢山のヒントをこの本は提供してくれると思う。

### 「背く女」上・下 マリリンフレント

松岡和子訳 プレジデント社

原題は「The Women's room」文字どおり日本語にすれば「女たちの部屋」となるが作者の愛とパワーはこの日本語のタイトルに十分込んでいると思われる。それ程の力作である事はこの本がアメリカのウーマンリブを変えたといわれる程の話題となり、現在もベストセラーを続けていることからもうかがわれる。

フィクションともドキュメントとも言える体裁をとつて様々の女達が登場し、語り手としての「私」がその女友達の生き方、考え方を引き合いに出しながら男との関係を語る。読んでいて身につまされ、作中人物に自分自身を重ね合わせ、ちに読み進んでしまふ本だと思う。

## 次号投稿募集

次号のテーマは、「学校が子どもをダメにする?」(仮題)です。

国際児童年も行なわれ、日本の子どもたちは一見、何不自由ないくらしの中で、幸せに育っているように思われます。

しかし本当に、子どもは幸せなのでしょうか? 大学進学率30%をこえる数字の中で、心身ともにすやかな人間が育っているのでしょうか?

そう思っている人は、よほど楽天的な人か、現実を知らない人ではないのでしょうか。こどもの無気力、中・高生のしらけ、友人の少なさ、知識欲の欠乏、マンガ本の流行、はびこるエゴイズム——どれをとってみても、日本の教育が、正しく子どもを育てていると言うにはほど遠い現状です。

もちろんこの現状は、学校教育だけに責任があるわけではありません。しかし社会の状況がわるければわるいほど、学校教育は正しいものであることを期待したいのです。

ところが逆に、現代日本の学校教育は、子どもを無気力にし、ダメにしている元凶ではないのか——そう疑っている親たちがふえてきています。

どこかが、大きく間違っているようです。

一口に、受験地獄が諸悪の根源のようにいわれていますが、本当にそうでしょうか。もしそうだとしたら、この害悪からどうしたら子どもを守るのか。親の打つ手ははたしてあるのか。

出来る子の親は親なりに、出来ない子(?)の親は親なりに、それぞれの悩みを抱えています。その現状を出しあうところから、学校教育を考えて行きたいと思えます。

子どもと学校教育に関わる、あなたの痛切な体験と思いを、ぜひお寄せください。締切は二月二十日です。

### 投稿について

- 必ず原稿用紙で。
- 書き出しは一字下げ、句読点は一字分とってください。
- 四百字づつ原稿用紙一枚あたり、三、四カ所の行かえをしてください。
- 投稿規定を一部変更しましたので、ぜひ一読ください。
- 発送日から投稿締切までの日数が少なく、申訳ないのですが、原稿整理に大変時間をとられますので、投稿はなるべく締切日以前に必着するようお願い致します。

## 投稿規定

予約購読者ほどなたでも投稿できます。投稿は原則として紙面の許す限りすべて掲載いたします。

### (一)随筆

ことに生活実感のあるものを歓迎します。(千二百字まで)

### (二)対話のページ(エコー)

わいふ誌上の投稿、記事についての感想、反論、批判など。(千二百字まで)

### (三)おしゃべり

おたよりその他、何でも言いたいことを自由に。(八百字まで)

### (四)特集テーマ原稿

テーマはそのつど、投稿募集欄でお知らせします。(千二百字まで)

### ●持ちこみ原稿

評論、問題提起、ルポ、文芸など。長さ自由、ただし掲載は編集部で協議の上、決めさせていただきます。

(一)〜(四)までの投稿について、規定枚数をこえるものは、持ちこみ原稿扱いといたします。

### ●投稿締切日

毎号、偶数月の二十日。

●誌上匿名は可。ただし投稿には住所氏名を明記して下さい。

## 編集だより

●読者からときどき、「わいふ」の歴史と現状について、お問い合わせをうけることがあります。新年を機会に、スタッフの紹介をかねて、「十七年目を迎えたわいふ」を企画してみました。少し、気恥しい試みなのですが。

●青娥書房から、これまでの「わいふ」の文章をいくつかまとめたものが「母親たちの自分史」として新春早々発行されました。お近くの書店でお求め下されば幸いです。(九八〇円)もし置いていない場合はその書店にご注文下さることをお願い致します。サークルなどでまとめた部数が必要なきは、どうぞ編集部へお申込み下さい。

●三月十日(月)一時～四時、公開編集会議を編集室でいたします。「わいふ」の企画へのご注文、とりあげてみたいテーマなど、この機会にぜひ持ちよって下さり、積極的に編集へ参加して下さいを期待しています。

出席希望の方は電話で編集部へどうぞ。

●157号から少しずつ頁をふやし、159号では64頁、161号は68頁と、一年前に比べると14頁の増頁になりました。投稿の数がふえる一方の上、やりたい企画が目白押しで、ない袖をふって増頁を続けてきたのですが、それだけに会計は火の車です。四年間、まったくの無給のボランティア

ィアで事務や編集に関わって下さる方々に、何とか心ばかりのペイを出したくとも、前途遠遠の現状です。二月からは紙代も上がるとか。どうぞ一人でも多く読者がふえますよう、皆さまのご協力をよろしくおねがいします。

●新しい試みとして、「テレビ女性ドラマを斬る」をはじめたいと思います。テレビのホームドラマ、恋愛ドラマに出てくる女性の描写には、愚劣なものが多く、怒りをおぼえます。ただし受身に視聴して、積極的に改善の働きかけをしない視聴者側にも問題があると思うのです。

お時間に余裕のある方に、週何本か決めてドラマを視聴していただき、内容についての批判をTV局へ反映させたいと思います。何人かで手分けして期間をきめて行ないたいと思いますので、どなたか引受けて下さいませんか。お電話いただければ幸いです。

●今号から掲載をはじめた対話のページ。以前のわいふティーンでは、問題提起が云いっ放し、ききっ放しで一向に討論に発展しなかつたうらみがありますので、記事や投稿に対する賛否両論や感想などを、この欄にお寄せいただきたいと思えます。

●結婚祝い「わいふ」を贈る方がふえています。二年目からは自分で続けて下さる方が多いので、ぜひご利用になつて下さい。

### ■購読申込は……

ハガキが電話でどうぞ。  
すぐ本に振替用紙をそえてお送りしますの  
で、折返しご送金ください。バックナンバ  
ーのご注文も同様に。二冊以上まとめりま  
すと送料が半額以下になります。

## わいふ

162号

1980年1月25日発行

編集・わいふ編集部

印刷・浩文社印刷

定価 350円

(年間購読料送料共2520円)

発行所・わいふ編集部

東京都新宿区加賀町2-4 ☎162

TEL (03) 260-4771・269-2388

振替口座 東京5-110430

銀行口座三菱銀行神楽坂支店

普通預金 052-4315635

(隔月刊)

### ■購読中止は……

かならずお申出ください。送金をお忘れに  
なる方が多いので、誌代が切れてもひき続  
き送本しています。お申出がないと、お送  
りしてしまうので、ぜひハガキが電話を。

■シリーズ・親と子——親と子の対話を求めて

## 母親たちの自分史 親と子④

わいふ編集部／編

母親、とくに子育て期の母親のもつ閉塞感、社会的接触への飢餓感、いかに乗りこえたらよいか。

\* 一月十日発売 \* 定価九八〇円

親と子①

## 現代母親考 十五歳の息子への手紙

島 雪子著

ごく普通の母親が、悩み悩み考えた末に、十五歳のわが子に長い長い手紙を書いた。偽りない心情が、母と子の関わりを見直させる『美感的教育論』

¥9800

親と子②

木元俊宏著

## 母親への公開状

木元教子を母にもつ著者が、母へのグチ雑言の中から、新しい親子関係を提起。ベタベタになりがちな日本の親子関係に対する、興味深いチャレンジ。

¥9800

親と子③

森山軍治郎著

## 青春の歴史・幸子の死

優しい厳しい思いをこめて綴られた、妻との生活記録。残された子らとともに、親子関係の新しい飛躍を求める父親の勇氣と信頼にあふれた試み。

¥9800

青娥書房

東京都千代田区三崎町三十一番一十一  
電話二六四一〇三三 振替東京九一二四〇〇

## 赤帽タクシー

● 割高につく小荷物運送を、

びっくりするほど

お安いねだんで

お引受けしま

す。

● 小規模の引っこし

荷物も、もちろんOK。

● テーブル一個、洗濯機一台でも引受けます。



### 走行料金

五〇斤まで一軒あたり一二〇円

五二斤以上一〇〇斤まで二軒あたり一〇〇円

一〇一斤以上 一軒あたり九〇円

### 荷扱料金

十五分毎に四〇〇円加算

### 時間料金

一時間一六〇〇円・三〇分ごとに八〇〇円加算

(荷扱料を含む)

青森県から鹿児島まで、全国どこでも活躍しています。

ご用命は配車センターへ

### 配車センター

東京都江東区冬木二一―一六

電話〇三―六四三―四五五五

全国赤帽軽自動車運送協同組合

万事値上げの世の中で、これほど驚く

# たまご革命

たまごの会編  
四六判並製・定価九八〇円

ほんもののたまごから何が生まれるのか？

「たまご」とは、たんなる鶏卵のことではない。土が死に瀕し、工業化の波がすべての人の生命と魂を蝕もうとする現代社会に抗して、土を活かし農の営みをとりのもどそうとする壮大な試みである。

## 主要目次

「たまご」を通して世界はどのように見えて来たか……井上スズ  
序に代えて

### 第一章 たまごの危機をどうとらえるか……高松修

- ① たまごに対する疑問
- ② 危機はどこから——その背景
- ③ たまごの会はこうして始まった

### 第二章 農場の生活と生きものたち

- ① 土つくり五年の中で作物は今……  
荻森みち子
- ② 虫を飼う……明峯博子
- ③ 豚を飼う……明峯博子
- ④ 農場の一日……明峯博子

### 第三章 たまごの会はどう運営されてきたか……和沢秀子

- ① 良い卵を求めて
- ② 八郷農場の建設へ

第四章 私たちはたまごをめぐる状況にどう関わってきたか……山本信子

- ① 安全性の追求
- ② 石油タンクを許すな

### 第五章 都市生活革命

- ① 都市の食卓をどう変えた……寺本悦子
- ② 給食の変革は保育に何を……山根孝子
- ③ 学校給食拒否……小山 梨
- ④ すこやかな生命は  
反原発から……斎藤美智子

### 第六章 農民と共に歩む農業の原点……魚住道郎

- ① 契約栽培……点から面へ
- ② 農業空中散布と米の契約
- ③ 石岡集会所から農業塾へ
- ④ エネルギー自給の生活を自覚して
- ⑤ たまごの会の可能性

たまごの会関係略年表

三一書房

東京都千代田区神田駿河台2-9  
振替/東京9-84160-03(291)3131

## ■朝日、読売、赤旗で絶讃！好評発売中 35年目の被爆者

広島原爆被害者問題ケースワーカー研究会 編  
広島原爆問題研究会協力 定価九八〇円

◎戦後三十余年を経て、今なお苦しむ被爆者のなかで活動を続ける医療ソーシャルワーカーが、被爆者十人の被爆体験、戦後の生活、現在の姿を聞き綴る。平和への祈りをこめた書。

■待望の労作、ここに完成！

## 現代女子労働の研究

広田寿子著

定価四、五〇〇円

◎戦後三十余年間、激変した女子労働者の地位——長年の実証的調査研究の成果の上になつて、その背景、女子労働をめぐる多岐にわたる問題に言及する。国際婦人年にふさわしい真の女の「自立」とは何か——研究家はもとより、婦人運動家、女子労働者のすべてにおすすめた労作。

労働教育センター

東京都新宿区西早稲田3-3-12  
〒160 ☎03(204)1441 振東1-125488

定価 三五〇円